(明治三十九年九月十日第三種郵便物認可)
京城日報
十三日夕刊

◎富士山丸も亦臨檢さる

三井物產會社所有富士山丸又復英國假裝巡洋艦の臨檢を受けたり是れにて英艦の為臨檢を受けたる我商船計八隻に達したり（東京電報）

◎獨逸白國人を召集す

倫敦電報に據れば獨逸は五個年以上自國內に居住する白耳義國人を軍役に召集せりと（東京電報）

◎コルボー森林の猛襲擊

獨軍一たび潰亂す―再襲して一部を得たるも奪還さる

巴里來電に據れば十日夕發表公報に曰く、終日間斷無き砲擊行はれたるムーズ西方に於て敵はコルボー森林の我陣地に猛烈なる襲擊を企てたるが攻擊は數回とも我砲兵隊步兵機關銃の銃砲火により其兵列を潰亂せしめられ驟頽して擊退せられたり獨軍は多大の損害を被り全然兵力薄弱となれるに拘はらず一個師團を以て最後の突擊を行ひコルボーの森林一部を奪取し得たるが我軍は再び之を奪還せり（倫敦電報）

◎ムーズ河兩岸の戰況

ドーモン西方の砲擊緩漫

巴里來電に據れば、十一日發表公報に曰くムーズの左岸に於て我軍は敵の砲擊に對抗しつゝあれども其右岸に於いては激烈の度を減せりドーモンの西方及びウオーブルに於ける砲擊は緩漫となれり（倫敦電報）

◎帆船擊沈と米國

國務當局の談

十二日華盛頓來電に曰く、ハーヴル駐在米國領事の報告に據れば三月九日無警告にて水雷の發射を受けたる諾威帆船シリアス號より七名の米國人救助せられたり（記者曰く前電米國汽船とせるは誤りか）是れに關して國務省當局は曰く現にシリアス號擊沈に關する詳細なる報告を待ちつゝあれども若し既に報道せられたるが如き手段にて水雷を發射せられたるものとせば米國が墺獨二國より受けたる保障に違反する者と思惟す（倫敦電報）

◎甘肅省亦獨立か

甘肅省內各地共人心動搖し帝政反對の氣勢盛んにして雲南軍と呼應し獨立を宣言せんとする徵候濃厚となり來れりとの報あり（東京電報）

◎奉軍出征と張師長

奉天第二十七師の步兵一旅團砲兵一聯隊及び其他の各種特科隊は愈々十七日までに奉天を出發する事に決し師長張作霖は其以前に一先づ歸奉すべし（奉天電報）

◎租界擴張拒絕聲明

日英獨露佛五國公使共同の漢口租界擴張に關する要求に對し支那政府は漢口が軍事上重要の地點なるを理由として之を拒絕し且領事裁判權の撤廢せられざる間は何地に拘はらず租界の擴張を承認せざる旨聲明せり（北京電報）

◎北京邦人排斥企圖說

北京來電に據れば北京に於て在留日本人排斥を企圖しつゝありとの說あり

◎厘錢買收計畫

北京政府は日本人が北支那各地に於て一文孔錢を買占め輸出して巨利を博しつゝあるを見て中國交通兩銀行より資金を支出し北京及び各地に買收局を設け買收せる厘錢は銅貨に改鑄し尚ほ餘りあれば外國に輸出すべしと（北京電報）

◎芝罘船廠擴張

北京政府は芝罘造船所を軍艦及び艦艇諸機具の製造に充分なる程度に擴張する計畫を立て袁總統は財政部に命じ取敢ず十萬元を支出せしむる事とせりと（北京電報）

◎我邦と經濟同盟

聯合國經濟同盟に對し我國は加入せざる事に決せるも豫備會議には我邦よりは代表者として森財務官列席す（東京電報）

◎師團長會議期

師團長會議は四月五日より陸軍省に於て開會に決せり其以前陸相師團長以下の大更迭行はるべしと觀測さる（東京電報）

◎秋山少將歐米出張

朝鮮經由露都へ

歐米出張仰付られたる海軍少將秋山眞之氏は二十一日東京出發朝鮮經由西比利亞線にて露都に赴き次で歐米各國を歷訪する筈にて京城にも立寄るべし（東京電報）

◎大阪毛斯合同進捗

大阪毛斯綸兩會社は增資合同の計畫中にて交涉圓滿に進捗中なり（大阪電報）

◎クラーク博士 共勵會長

クラーク博士夫妻は十四日門司合同教會にて講演を為し同夜出帆の連絡船にて渡鮮す可し（門司特電）

◎總督茶菓饗應

寺內總督は十三日午後三時より大提學朴齊純子以下經學院各職員、呂圭亨氏以下各講士並に李完用伯、趙重應子、權重顯子等を官邸に招待茶菓の饗應あり總督府よりは宇佐美長官、小松翰長、關屋局長、學務課高等官等陪席したり

◎總督邸晚餐會

寺內總督は十三日午後七時より若見侍從武官、豊邊中將、井口軍司令官、安藤中佐、矢島軍醫監、岡本參謀長等を官邸に招待晚餐の饗應あり總督府各部長官並に所屬官署長官局長等亦參列す

◎クラーク博士の日程

萬國日曜學校聯合會々長クラーク博士夫妻及び日本駐在宣教師ベテー、共勵會幹事澤谷長次郎氏等の一行は十四日門司發十五日大邱に來着し同地に於て講演の上十六日午後九時南大門著の豫定なり同氏の入京に際しては既に大隈伯より寺內總督に對し懇切なる紹介狀も到著し居れば何れ總督の歡迎會等もある可きも信徒側にありては十七日午後四時より南米倉町の渡邊暢氏宅にて各教會聯合の歡迎會を開催することに決定せり同氏滯京中の日程大要左の如し

十六日午後九時南大門著▲十七日午後四時歡迎會▲同日午後八時組合教會講演會▲十八日午後一時セントラルホテル朝鮮婦人のため講演▲同日午後八時朝鮮青年のため講演▲十九日午後四時外人のため同所にて講演

◎若見侍從武官入京

駐劄軍隊慰問の為め北鮮軍隊慰問中なりし侍從武官若見陸軍少將は十三日午後五時廿二分南大門著、大觀亭に入り二泊の上十五日午前八時三十分發歸東の筈

◎豊邊騎兵監入京

北鮮部隊檢閱中なりし騎兵監豊邊中將は十三日午後五時廿二分著元山より入京巴城館に入り十五日は龍山なる騎兵中隊檢閱の豫定なり

◎川村中將病狀

金澤市の自邸に病氣療養中なる川村第九師團長は十一日より頗る注意すべき危險狀態となり十二、十三兩日共引續き右狀態を繼續し居れりと師團司令部へ入電ありたり

◎岡本參謀長歸任

西鮮地方巡閱中なりし第九師團參謀長步兵大佐岡本功氏は十三日午前七時四十八分龍山著歸任せり

◎重石鑛益有望

年產七百噸に達せん

タングステンの暴騰以來、同鑛石の採取熱は非常の勢を以て瀰漫せるが新鑛業令發布以來は此趨勢殊に顯著にして此れが發見者等は何れも施行期を待つて出願す可く目下準備中なれば實施の曉には其出願件數忽ち百數十件を算せんとする模樣あり元來タングステンの發見されしは近代の事にして現時の産額は未だ多からず、千九百十二年の統計に依るに全世界の年產額は漸く八千噸にして緬甸の千九百噸を最とし葡萄牙千三百三十噸、南米千二百噸、濠洲九百八十七噸、張樹然す六百四十噸等順次相亞ぎ其產額年と共に增加の傾向あるも然も今日の總產額は尚ほ一萬噸を越えず內地の如きは僅に二百噸內外を產するに止まる狀態に在り而して朝鮮に於ても內外に過ぎずと雖も其鑛床の外昨今新に發見さるゝもの相當にして昨年の產額は亦百五十噸の狀況なれば此勢を以て推移せば六七百噸の年產額を算すること敢て難事に非ざる可しと觀測され從つて朝鮮がタングステン鑛產地として世界有數の地位を占むるに至るは將來にあらざる可し、兎も角朝鮮のタングステン鑛は將來刮目に價す可し

◎赤字施療患者

日本赤十字社朝鮮本部にては大正三年以來朝鮮總督府醫院、各道慈惠醫院及び公立病院に委託し、窮困なる病外來患者の無料診療を實施し居れるが今日までの同患者數は朝鮮總督府醫院委託患者十一名此延人員六百六十九人、春川慈惠醫院一名、延人員百三十四名、義州慈惠醫院十名延人員二百四十三人にして患者合計廿七名此延人員二千百六十八人なりと

◎京城府協議員會

京城府にては大正五年度京城府豫算に就て十七日より開會の學校組合會と相前後して府協議員會を開き今年度內に全部決定の豫定なりと

◎學校組合會開會期

京城學校組合にては來る十七日頃より組合會を召集し大正五年度豫算其他に就て組合會議を開く筈にて會期は約一週間位なるべしと

◎對關門貿易

門司港三月上旬の朝鮮貿易は總計四萬四千二百六十一圓內移出一萬八千二百五十五圓移入二萬六千零六圓にして一月以降累計は四十一萬千六百八十圓に達せり又下關港三月上旬の朝鮮貿易は總計四十七萬六千零七十三圓內移出二十六萬七千三百二十五圓移入廿萬八千七百四十八圓にして一月以降累計は三百十三萬三千四百五十九圓に上り前年同期に比し三十八萬九千百三十五圓の增加を示せり

平壤

▲平壤公會堂　御大典記念事業として平壤に建設すべく昨秋來官民の間に劃策中なる公會堂は近々學務部より寄附金募集の認可あり次第學校組合戶別割年額十圓以上を納附する官民に對し委員より相當出資を勸說すべしとの事なるが若し寄附申込豫定額に達せず年內に計畫通りの新營不可能の時は明年若くは明後年と引續き完成を期すべしと

▲平壤栗の紹介　四月一日より朝鮮栗の內地移出稅大に低減せらるゝを以て有名なる平壤栗の取引を著目せしもの多しと見え最近商業會議所創立事務所に宛て平壤栗取扱店の著名なるもの價格並に現在荷物數量等を問ひ合せ來るもの多し

▲家賃低落す　近來平壤市內各所の陋屋及び小長家に貸家甚だ多しこれ昨年來戶數の稍減せるも理由たれど此頃市中の家賃低落し相當家屋も一二割方値下げせるを以て低級借家人も小長屋若くは陋屋を出で相當の家に移るもの多き為めなりと

▲兩煙確執融合　昨夏來平壤市中は官民兩煙の競爭熾烈を極め市中百餘の煙草小賣店は官煙若くは民煙の何れにか屬して其の一手專賣をなす事となりしが需要者の不便少なからざりしが此程兩煙當事者申合せの上此の確執を融合し小賣店は以前の如く官民兩煙を店頭に陳列する事となれり

▲牡丹臺の春色　春未だ淺けれど快晴の日牡丹臺近郊の風露頗る佳なるものあり散策の士漸く多しと

□忠州より　三月十日　松木生

忠州の重石熱は豫想以上に有之候清州に事務所を有する忠北自動車組合の如きは採鑛連、買鑛連、鑑定連にて清州忠州間の賃金一日百五十圓を擧げ居り候當の忠州にては昨今重石に知られ頭する者と風邪を引かぬものとは忠州人にあらずなど申居り候

清州

▲鈴木長官歸任　夫人の遺骨を携へ葬儀のため歸省中なりし鈴木忠北道長官は十二日午前七時歸著官民多數の出迎へを受け直に官邸に入る

▲忠北荷物自動車計畫　鳥致院、清州、忠州間荷物運搬の目的にて自動車運轉計畫を以て過般來調查中なりし在鳥致院西原嘉太郎氏は今回其筋に向て認許申請をなしたる由愈々開業の運に至らば地方の開發に資する大なるものあらん

裡里

▲議員選擧　全北裡里學校組合にては去る十日學校組合議員の選擧を執行したるが面冷靜の如くなりし候補者等は選擧期日切迫と共に競爭劇甚となり愈々選擧間際となりては定員八名に對し十八名の立候補者打つて出で裡里空前の活況を呈したるが開票採點の結果左の諸氏當選したり

(百二十五點)佐々木長太郎(百十五點)天末房雄(百零七點)小野剛(百點)扇末助(九十七點)猪岡要(九十五點)倉田光藏(八十二點)後藤三郎(八十點)藥師寺定雄

光州

▲軍隊送迎會　光州守備の宇都宮聯隊一個中隊は四月二日歸還の途に就き新たに交代すべき第十八師團高瀨聯隊中の一個中隊は三月二十四日光州著の筈なれば官民有志は光州公園に於て盛んなる歡送迎會を開催する筈

▲臺灣共進出品　四月開會の臺灣共進會へ本道より出陳の產物は陸地棉及び濟州島椎茸にて既に現品の發送を為したり

▲明治神宮獻木　明治神宮に奉獻する本道莞島郡の椿皮びフタバタコ數十本は十日釜山に向け發送す

▲棉共同販賣高　其筋の調查に因る大正四年度本道の棉花共同販賣高は

▲一等棉六百十五萬七千二百九十六斤價格十萬二百六十四圓六十五錢▲二等棉四百三十九萬〇七十五斤價格四十三萬八千〇四十八圓二十二錢▲三等棉百七十四萬一千百九十一斤價格十三萬[illegible]▲四等棉[illegible]合計一千[illegible]斤價格[illegible]圓にて昨年は▲一等十五萬五千[illegible]▲二等棉[illegible]▲三等二萬八千三百五十二斤價格六千〇[illegible]合計二十三萬四千二百七十[illegible]圓二十八錢なりし外に共同販賣以外のもの約五十萬斤ある見込みなりと

大邱

▲種苗配付數量　慶北に於ける昨年中道廳種苗場並に勸業模範場より配付したる種苗の主なるものを擧ぐれば其の數量左の如し

種類	數量 道廳より配付せしもの	勸業模範場より配付せし者
水稻	一五〇、六八石	一〇〇石
陸稻	〇、八四	四六、六〇
大麥	〇、四二	〇、四〇
小麥	〇、四八	〇、四八
裸麥	三、九〇	三、九五
陸地棉	〇、一〇二	〇、一〇三
桑苗	一四〇、〇〇〇本	一〇〇、〇〇〇本
蠶種	一〇〇、〇〇〇斤	一四三、〇〇〇斤
春蠶	三、九五枚	三、二五〇
夏蠶	六三〇	六三五枚
秋蠶	一、五〇三	一、五〇三

▲桑及蠶種配付　慶北に於ける大正四年度桑苗並に蠶種數量中道廳より配付したるもの、內春蠶種二一、二九三枚の內一二、五二九枚は一枚宛金四十錢夏蠶種六三五枚中一七五枚及び秋蠶種一、五〇三枚の內八四三枚は何れも一枚に付き三十錢にて有償配付したるものなり

釜山

▲學校組合調查　釜山學校組合會の調查委員等は十一日理事者と共に第四(牧島)尋常校の實地調查を為したるが十三日午後一時より調查委員會を開き全員及び理事者と打ち連れ草梁校の實查をなせり

▲神戶より

獨逸が葡萄牙に對し宣戰したりとの說につき東京駐在葡國總領事カスロ氏は語つて曰く『葡國公使より今日迄未だ何等正式の報告に接せず今日迄の所にては葡國政府は押取せし獨逸汽船解放の最後通牒に對し何等の回答を與へず而して右回答期限は四十八時間なりしとの事なれば或は形勢が既に開く切迫し居ろかも測り難し昨今の西電には東西前後相矛盾するもの少なからず殊に紐育、倫敦經由の伯林電報には往々信を置き難きものあり然れども葡國側の陰然たる方策は既知の事實なれば

人事消息

▲グアイカー氏(英人會社員)　十二日入京旭ホテルへ
▲西村純吉氏(商議會社員)　同上
▲笠井直三氏(小野田セメント會社員)　同上
▲黑岩市太郎氏(同上)　同上
▲ゲストポーク氏(米國商人)　同上
▲ミスキー氏(英國商人)　同上
▲森塚勝藏氏(高等法院)　司法事務巡閱の為め十五日務州へ出張
▲森部步兵大佐(咸興六十三聯隊長)　十二日釜山上陸汽車にて北行
▲松浦市太郎氏(水產課技師)　慶尚南北道へ出張中の處此程歸任
▲池田泰治氏(土木局技師)　全羅北道へ出張
▲後藤孝彦氏(土木課技師)　此程全羅南道へ出張の序を以て慶尚南道へ出張を命ぜらる
▲宇都宮寛氏(山林課技師)　十二日より黃海道へ出張
▲永井松次郎氏(土木局技師)　港灣に關する打合の為め十六日出府の筈
▲安藤又三郎氏(鐵道局參事)　十一日夜東京より陽北經由歸任
▲矢野勝藏氏(德山警務課長)　十一日南鮮方面へ出張十八日歸任の筈
▲國本正六氏(新任咸興地方法院長)　十二日出發赴任
▲細野權藏氏(新任咸興警察署長)　同上
▲吉岡榮九郎氏(第九師團參謀)　步兵第六十九聯隊初年兵教育狀況視察の為十四日朝平壤へ十七日歸任
▲西村保成氏(滿鐵營業課長)　十二日午後元山方面より歸京
▲松寺竹雄氏(京城地方法院檢事正)　十三日朝群山へ
▲渡邊猪一郎氏(貴族院議員)　十二日夜入京朝鮮ホテルに入る

死人に崇る動亂

鐵砲や爆藥を棺柩に入れ草の同志が白い著物を著て喧を目に付けながら▲マンマと汽車で武器を途り運つてから大ベロリと赤い舌を出して▲動亂に取りかゝる手段が上海杭州間の鐵道で發見されたので▲上海の支那警察では棺柩を運送するに方つては▲必ず其筋に屆出でゝ役人立會嚴重檢查を受けて死人を棺に納め蓋に封印をして▲扨て行く先地を記入した旅券を貰ひ道々其手形を檢查員に示して運搬すると云ふ大辨法を發明し公布したが▲何せよ死骸は死亡地に埋めずして何百里あらうとも必ず鄉里に持ち歸つて埋葬する支那の慣習なれば却々以て大混雜

歸京偶吟　無佛　陳人

嘆嗟、幾度仰長空。復見戰雲指顧中。何物最新歸客眼。蝸牛角上鬪群雄。

下關、何日定。如今閑却一英雄。砲煙硝霧鎖長空。靄々生靈塗炭中。天

是數莖催髮白。風鷹共奈英雄。歸來何耐恨無窮。人入道山爐火空。況

料東方多難日。牛刪李怨老英雄。同　佐々木茶溪

風雲莽々壓蒼空。四億生民水火中。誰為歐洲建長策。唯看六國互爭雄。又

聞來興廢感無窮。藏劉頡一夢空。誰

祭韻呈無佛居士博一粲　川崎　紫山

◎內地人生徒募集　大邱公立農業學校　詳細は本校に照會す可し

公益靴　甲部黑ズツク底船來皮持久力五圓以上の靴に匹敵す世上有觸れる古品改造不正品に非ず　金壹圓七拾錢　小包料前金注文三十錢代金引換四十九錢　上村彌勝本店　大阪東區谷町二　電東二八四一・振替大阪九九五五

產婆並に看護婦生徒募集　◎入學期四月と十月規則書郵券二錢　長崎市私立長崎產婆學校

朝米　定期米賣買之栞無代進呈　前金注文は紹介を要せず　大阪市北區堂島濱通一丁目　大阪堂島米穀取引所仲買人　入江商店　電話北　六六五〇・六六五一・六六五二

養蠶家奮起せよ本年の如き蠶絲界の盛況は再來亦遠し

二金製角旗折疊器　新案國正

本器は堅牢耐久一日一人にて七百餘枚の蠶箔に要する量を製し赤蟻は二角折蠶座の光澤常に佳良
改良農蠶具目錄送呈　東京上野下谷三七二　振替東京四五八番　內外農蠶器商會
朝顏菊種苗販賣　銘鑑培養法入用の方郵券武錢御送附乞ふ　淀屋橋道修町細井　大阪東區好園

信用ある東京三金の特賣
長サ一尺三寸　金四圓八拾錢
長サ一尺五寸　金五圓五拾錢
ボックス革襞編上
ボックス製スツク靴長

第一號　金貳圓五拾錢
第二號　金參圓五拾錢
第三號　金四圓五拾錢
ボックス革製變型
第一號　金貳圓五拾錢
第二號　金參圓五拾錢
第三號　金四圓五拾錢
ボックス革製深ゴム
第一號　金貳圓九拾錢
第二號　金參圓九拾錢
第三號　金五圓五拾錢

右の均一靴は精選せる材料ご熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般貿用紳士靴として好適なり▽御注文の節は靴種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包(送料實費)にて差送附す
最新目錄無代進呈
東京市芝區愛宕下町　三一高等靴店　電話芝一六九〇・一七二三番

朝鮮産の紙卷煙草を御嘉納あらせらる
寺内總督へ畏き御諚

聖上陛下が常に我が朝鮮のことゝもに深き大御心を垂れさせ給へるは申すも畏き極みにして在住一千餘萬の赤子の恐懼感激し奉れる處なるが客年末寺内總督東上參内の砌 陛下には朝鮮の産業に就き種々有難き御下問あらせられたる後、特に煙草に就きて優渥なる御諚を賜へるにぞ總督は感銘措く處を知らず、歸任後直ちに度支部專賣課技師岡田虎輔氏を招きて陛下の思召を傳へ口付紙卷煙草の謹製方を命じたれば岡田技師は二名の技手と共に齋戒沐浴、中樞院内專賣課分室に打ち籠りて朝鮮在來種煙草並に朝鮮産内地種葉煙草の二種を以て月餘を閲し二月中旬細卷五百本、太卷一千五百本の二樣の口付紙卷煙草を謹製して之れを總督に提出したりしかば總督は同月末直接謹製に從へる岡田技師をして之れを奉持東上せしめ獻納の手續に及ばしめたるに陛下には殊の外の御滿足にて悉く御嘉納あらせられたる旨此程宮内大臣より寺内總督に宛て通牒ありたりといふ申すも畏けれど朝鮮煙草界無上の光榮とこそ謂ふ可けれ

亞細亞日報の立退
帝制を皷吹して爆裂彈を投ぜらる

上海英租界山東路の北京政府御用新聞亞細亞日報館は帝制を皷吹せる爲め二回爆裂彈を投せられたるより附近の商店にては大に恐慌を起し斯く度々爆彈を見舞れては營業上に影響を受くる事少からずとて警察署に保護方を出願せる一方日報館の家主なる某公司に向つて日報館を他に移轉するやう勸告せんことを求めたるが家主にても日報館を立退しめねば家主の家へ爆彈を投ずべし等の匿名の手紙も舞込むことゝて早速日報館に其の立退きを求めたるも日報館は中々動かざるより家主徐某は遂に會審衙門へ訴出で其の裁判なる三日王判事米國陪審官の下に開かれたり當日被告側よりは營業部主任金秋波出廷し同館總理劉竺佛は目下上京不在なる旨を述べ且つ同館はこれ迄家賃を停滯したること無ければ立退を求めらるゝ理由なしと云へるも法官は原告の主張を道理ありと認め被告に對し三週間内に現在の家屋より立退くべしとの判決を下したり

海軍航空隊の出發
教官大崎大尉指揮の下に第五期將校全部搭乘す

追濱航空所にては母艦若宮丸を各港灣に廻航し各地に於て飛行を試むる大計畫ある事は既記の如くなるが愈々二週間の豫定を以て十二日横須賀出發同艦は教官大崎大尉指揮の下に第五期飛行將校の全部別府、入島淺田、和田の四中尉を引き連れカーチス式イの一號同二號ファルマン式ロの三號の三臺を搭載し先づ館山を經て淸水港伊勢灣大阪灣を過ぎ吳港に至る順序なりと(東京電報)

挑んだ獨逸の胸の底
何故葡萄牙に宣戰をしたか
唯亞弗利加の植民地が欲しい爲に

伯林來電は獨逸が葡萄牙に對して宣戰を布告したと傳へる、葡萄牙が聯合軍に味方して今回の大戰に參加するだらうといふ事は已に▼久しい以前から 傳へられて居た、其れが今日に至つて實現されたからとて別に耳新しく感ずる程の問題でも無く又其れが何等戰局に影響を及ぼすといふのでも無い、併し之れに依つて戰亂の範圍が更に擴大されたことに就ては大に注目の必要が有らうと思はれる、電報の傳ふる所は頗る簡單であるが其れに依つて見ると獨逸の方から▼宣戰を布告した とあるから一面より考へれば獨軍の極めて優勢なることを示すものとも想像されるが元來葡萄牙は歐洲の弱小國で此の百年以來といふもの内亂革命の騷ぎ絕えず千九百十年に至つて共和國となつたけれども其後も勤王黨との軋轢甚だしく國家は疲弊して經濟上の實權は全く▼英國の掌握する、所となつた國土の廣さは我が邦の四國と北海道を合せた位のもので人口五百五十萬軍備といつても陸軍が三十萬乃至五十萬の兵力を有するのみで之れとて訓練ある獨逸兵とは到底比較にならず海軍に至つては何等の實力なく最近に新艦の建造に着手したけれども希臘や土耳古にも及ばぬほどの弱勢である、故にその去就は大局の上から觀て何等論ずるに足るもので無いけれども▼英國は兵力補充 の必要から頻に葡萄牙の蹶起を促して居たのであるが聯合軍の旗色兎角に面白からぬので常に曖昧の態度を執り何れとも決し兼て居たのである英國とは同盟の關係もあり切つても切れぬ仲なので曖昧の間にも英國の機嫌を取るために時には獨逸に對して嫌な態度を執らなければならなかつた其が獨帝の癪に障つてさては今回の宣戰布告となつたものであらう併し▼互に兵を交へる ことが出來ぬ故唯潜航艇を以て葡萄牙の海岸を脅かし附近の海上に出沒して危害を加へる位であらうが自らヴヰルダンの攻擊に必勝を期する程の獨軍のことであるから後日巴里を一蹴して長驅更に葡萄牙に突進を夢みて居るのかも知れない其んなことは兎に角▼空想に過ぎない としても葡萄牙は亞弗利加その他に本國の十數倍の殖民地を有し面積八十萬平方哩人口九百萬を算へて同國の一大富源である、獨逸は今回の大戰が自己の勝利を以て終結するものと確信し平和克復の曉には少しでも其の獲物を多からしむ可く葡萄牙の殖民地をも我が手に入れやうとの野心から斯くは葡萄牙を戰亂の渦中に捲込んだものと見るが最も適當であらう

手の長い下女

山口縣熊毛郡城南村字川西生れ當時京城永樂町二丁目中山方居岡村ひさ(二三)は昨[illegible]て本町三丁目の村田雜貨店旭町一丁目の榎木雜貨店等より月末勘定にて品物を求めたる事あるを奇貨とし解[illegible]丁目の口入屋にて西村某女の羽織一枚を窃取したる事發覺し取調中の處此程京城地方法院にて懲役六箇月の[illegible]

[illegible]隔する事務に從事中昨年三月より本年一月までに鬼頭商店其他より取受[illegible]

□春の宵―(五)酒場 或酒場に詩人だの畫家だのが落ち合つた晩にこんな話が出た。『Kさん、Kさん、私はKさんだらうと思つたんですよ、道理ね、カフヱーエビスへ或人が來たんですね、そして西洋の酒が呑みたいのだが初てだからと云ふので見本の格で、赤いの青いのと有りつたけのコップを舐め廻して、ペパーミントがいゝから一杯下さいと、大枚十五錢投出してつたんですて……私はKさんの仕事ぢやないかと思ひました』『ハヽヽ、豈夫……』Kさんの哄笑はリキウグラスに赤い漣をたてた

ナイルス氏舌を捲く
宙返り飛行同乘の人選

目下神戸オリエンタルホテルに滯在中のナイルス氏は例の婦人同乘の宙返り飛行について人選中なるが婦人の同乘飛行志願者頗る多く申込み既に百名に達し中には態々ホテルにナイルス氏を訪ひ面會を求むる者も毎日數人ありナイルス氏も舌を捲いて驚き居れるが同氏は同乘宙返り飛行の際における感想を極めて精細に科學的に叙述し得べき頭腦明敏なる婦人を覓め居れり(大阪特電)

俳優の金指環を窃取す

東京市四谷區左門町生れ當時龍山漢江通六番地居木下德太郎(二九)は大正三年十月頃より元町二丁目の金光教會所に雇はれ中主家より他に賣却したる神具の代金中より五圓を窃みて消費し尚同年十月頃にも主家の用品なりと欺きて元町二丁目雜貨商山口某より消炭外八點(二圓五錢)を騙取し引續き十二月頃龍山座にて開演中の俳優兩名の金指環外雜品五點(二十九圓餘)を窃取し取調べ中の處今回京城地方法院にて懲役六箇月の處分となりたり

刑事を惱ました大賊

過日京城本町署の二刑事の爲めに取押へられたる石川縣金澤市馬場町生れの谷常次郎(三四)は窃盜前科四犯の曲者なるが本年一月十[illegible]後全州、大田、公州、江景、仁川等の各地にて郵便局、銀行、[illegible]等を荒し廻り前後十三回の窃盜を働き被害品三十點(價九十圓)に達し居れるが京城に來りて一仕事せんものと徘徊中前記二刑事に認められ[illegible]く抵抗を試みたるも遂に逮捕されたるなりと

合併相撲休場

東西合併大相撲十三日の二日目は雨天のため休場せり(大阪特電)

鐵を食ふ豆腐賣

鐵類の騰貴に伴ひ近來同品の盜難に罹るもの漸次增加の模樣なるが京城靑葉町一丁目豆腐賣子中仲極(二十)は一月十五日午前十一時頃同町二十一番地所在木津某の所有倉庫に忍び入り鐵器類約十三貫(二十圓)を窃取し同町の古物商趙福萬に金一圓七十八錢に賣却し趙福萬は更に之を他に轉賣したること發覺し中仲極は鍾路署に檢擧さる

旭崇會の美擧

筑前琵琶師井上旭崇女史を師として成立せる旭崇會有志者は今回若草町大火の罹災者救助の爲め金十圓を醵出し其處分方を阿部本社長に依托したるを以て直ちに其筋の手を經て其々罹災民に分配したり

金身居士保釋

爆彈事件被告として收監されたる田中金身氏は十日保證金百圓を供託して保釋を許され其他全部の被告は[illegible]除されたり(東京)

拾つて養育

十一日午後九時頃京城[illegible]門前に生後[illegible]月位の男兒棄てあるを同署[illegible]發見し[illegible]育すべしとの事にて引渡したりと

懷しき母校 春は樂しき同窓會

懷かしい母校に別れ、親しい仲の友だちと離れて過ぎ來しいくとせの、同じ學びの道にいそしみし事など思ひ出でゝは、さすがに淡い哀愁を感じながら、校門を出る卒業期は目前に迫つて來ました、さうして今まで在校生は同窓生となるのでございます。此の機會に各學校の同窓會の模樣を伺がつてみるをにいたしました

若いお母樣
京城女子技藝學校
獨立自活の少女 質實な家庭生活

十三日の正午南大門の女子技藝學校をお訪ねすると井上校長は高等女學校の方においでになつて不在、次席の先生にお目にかゝる。此の學校が出來たのは明治四十二年、昨年の新學期から經營者が更つて今年は

◇六回の卒業生 を出す事になりました。昨年までの卒業生は全部で八十人、一學期の卒業生は是まで二十七人といふのが最も多く、大抵二十人以下であつたさうです。此の學校にも同窓會は以前からありましたけれども、どういふものかこれまで、いろ〳〵の方法で

◇會の集まりを 企てゝも一度も行はれた事はなかつたさうです此處の卒業生は一體にこういふ事に多くの興味を有つて居りませんけれども新校長の井上先生は是非一度盛んな同窓會を開いてみたい希望から、來る四月には同窓生の集まりを催したいと言つて居られるさうですが、それに今年の卒業生は

◇珍しく三十名 の多數を數へましたので是等の人たちも合せて開かれるやうです。同窓生八十名の内結婚された方が二十一名、遞信局、龍山京城の兩郵便局に出て居る方が六名、技藝學校の教師になつたのが一名、專門の學校に這入つたのが一名、その他は無職

◇家庭にあつて 家事に從つて居る方ばかりださうですが此の學校の性質から考へると、女子として自活し得る丈の職業を授けられた結果、獨立自活を思ひ立つものが多い樣に思はれますが、事實は全く反對で、學校で習つた事を

◇應用して獨立 するといふ樣な風は殆んど無いさうです。現に今年の卒業生三十名の今後の志望といへばいづれも家庭の人となつて家事を習ひ度といふ質實な考へを有つたもの許りださうです

華やかな五節の舞
―京都祇園の都踊は四月一日より―

京都祇園の都踊は例年の如く四月一日より花見小路歌舞練場にて開催する事に決せしが本年は御即位大禮後初ての年なれば聖代を祝ふ趣旨にて五節の舞の面影を移して舞曲としたる一齣を加へ京都名所より取材する由即ち第一は勅題『寄國祝』を利かせて銀地襖の一聯を見せ第二は五節の舞と異なりたる前段は聖代を張り廻し中央に朱欄の舞樂臺を構へ太平萬歲樂等の舞樂に用ゐさせ給ひし樂器をあしらい總て二條離宮内大饗宴場の其れの如き目も眩き光景を見せ後段は千年の軟障を中央に悠紀主基の地方屛風を張りて御賜宴場の玉座を現はし第三の場は都名所に入りたる東山『野宮』ケ原の夏の夕暮、智恩院山門前の螢狩、第四は智恩院方丈德川將軍御成の門、第五は淸水寺境内新高尾の秋景色には美しき紅葉の名所を現はし第六には平安神宮大極殿の朱欄碧瓦に白雪の降り積りたる冬景色、第七は嵐山の櫻爛漫と咲き亂れ大堰川の川水も紅の雲影を宿す華やかなる大道具を用ゐる計畫なりと(大阪)

▲つい此の間丸家の笑子がお忍びで仁川迄と洒落込むと生憎に南大門驛から大塊翁、虎耳橘左近などいふ俳人連が同乘した▲何んて間が好くないんでせうと小さく成つて居る笑子を捕へてやれ何處まで行くかの仁川は何處へ何んの要事かと云ふ樣な事まで尋ねられ笑子も宜い加減に京城では間に合はぬ用達しに行くんですワ日歸りに今夜は歸るワで仁川驛で別れた▲處が其の晩更に生憎の事に笑子は俳人一行と同宿に成つて散々油を取られた揚句歸りの汽車が又一緒と來て居るから笑子愈々助からない▲そこで大塊翁取敢ず『埋め物を朧夜に喰ふ狸哉』とやると虎耳が『朧夜や喰ふ狐の汽車に來て』左近が『玉藻の前と化ける春かな』で笑子スッカリ狸にされたり狐にされたりお終ひには金毛九尾の狐にまでされたので思ふ存分でしたよとは誰にお禮やら▲それはさて十日の陸軍記念日に文の家の光菊が貴賓接待所でビールの飲み振りが蛤の子にソックリだと云ふ評判で軍司令官を始め並み居る紳士我も〳〵とお酌をして取らすを片端から引掛けて長鯨の百川も只ならざる美事さ▲處が餘り景氣を好く引掛けたので尻へ椅子が喰付いてどうしても離れないハテ不思議と力きんで見ても不可ない傍で此の樣子を見て居つた大塊翁早速の讃に曰く『腰拔けろ程花に醉ふたる記念かな』▲續いて虎耳が『殿のお酌で死すも花なれ』とあるをまた大塊翁が『南無光菊花醉大姉穴賢!!』

逃走中逮捕さる

京城桂洞鄭海永(一九)は二月五日より本町三丁目[illegible]全部消費したる事發覺し遂に逮捕せられ本町署より檢事局に送らる

連絡船上陸客

十二日午前[illegible]

十二日夕入港壹岐丸一二等客 寺尾三、松田うらじ、同一、倉持きわ、同しほ、三浦芳太郎、和三郎、西村九州男、外八人二名[illegible]

天氣は 晴れ 北又は西の風 ▲三月十四日 [illegible]

●●●●●● 桑苗魯桑接木及實生販賣
持合苗木根廻り一寸以上、同八分、同七分以下
右現品大田に有之候間直ちに發送出來候
京釜線大田驛(電話百〇七番 電略號ト)
蠶具一式卸 (蠶具一式目錄送呈仕候)
東洋蠶業株式會社出張所

大正五年春季號 園藝カタログ 進呈 (往復はがきにて御申込あるべし)
何を植ゑる 何を蒔く

▲ダリヤは千九百十六年種より總ての年代の各種類を網羅す
▲菊は大菊、中菊、中の撰範花新花を蒐集す
▲バラ、カーネーション、撫子類は園藝家の誇とするものを集む
▲朝顔は丸咲、大輪、變化咲の新種名花の正確なるものを提供す
▲其他總て和洋草花、觀葉植物の種子、苗類を網羅せざる無し
▲總ての花卉は美麗鮮明なる寫眞版又は銅版を以て現はし培養法を附記し代價を示したる楚々たる美本なれば家庭の好伴侶とも園藝家の好手引ともなり又一裝飾の本ともなる(國民新聞園藝部)
京城太平通 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

タングステン鑛、水鉛鑛其他鑛石數量を問はず高價買入申候
京城旭町一丁目百三十番地(御大師前)
中川湊 電話一六二四番

金丸の鐵砲でこの通り!!!
新荷着
横濱市本町 合資會社 金丸銃砲店
(獵銃定價表郵呈)
獵銃、獵具、散彈、火藥、其他全備
電話一五五番及六五三番 振替口座東京四七一番

謹啓各位益々御清穆の段奉欣賀候勉て今般英國倫敦コンビン會社より(戰爭の難を冒し)多數の舶來車入荷仕り候間自轉車會を設け一大勉强を以て販賣仕り候間何卒至急御申込相成度御願申上候
登錄商標 コンビンA號 純良なる高級車にて紳士用なり
登錄商標 クラブA號 純粹なる舶來車 德用なる實用車なり
京城南大門通り五丁目 横山商會京城支店
電話一八七五番 振替口座一二三〇四番

朝鮮人を日風呂に入れる學校
一にも清潔二にも清潔

平壤の萬壽台下に巍峨たる共立女子崇義中學校と言ふ學校がある此の學校は

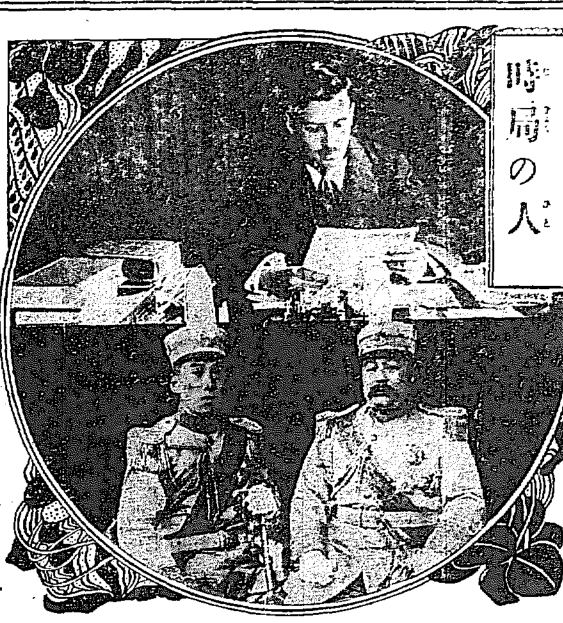
■宗教學校で長老派 に屬し現校長はデリングヘムと云ふ米國人であるが朝鮮に於けるミツション、スクールとしては相當に權威ある筈しつゝある許りでなく生徒は重に咸鏡道黃海道平安道仁川等の富豪の子女で現在三百人許り在學者がある例年は米國の經濟界上の影響等に依つて生徒の增減は免れ得なかつたが本年は成績は至極良好で退學者は至つて尠かつた相である教育の目的は高級耶蘇信者を養成せんとするのであつて常に朝鮮の秘密に重きを置いた

■和洋折衷教育法 を施して居る學科目は普通學科は勿論割烹、裁縫、洗濯等が課せられてあるが就中割烹は鮮人の趣味嗜好を向上せしむる様歐米式の調理法を巧みに朝鮮料理に應用し洗濯は朝鮮在來の法に捉れぬ様地下室に水道を引き砧を以て布を叩かしめる相であるが婦の生徒が砧の音に和して讃美歌を謡ひ乍ら布を打つ様は

■外國人が古典的に 感ずる處であり且つ鮮人の原始的生活に對する感興を非常に深からしむる相である刺繡は西洋式及び內地式を採用しつゝ行るが其の技巧に至つては賞讃に値す可き者があつて春秋二季の展覽會には內外人及び鮮人等の參觀人をして驚嘆せしめ且つ此等生徒製作品を米國に輸出して年々少からぬ某金を得つゝあるを見ても如何に鮮人が優秀な技能を有し居るかを窺ふ事が出來る校長デリングヘム氏は鮮人に對する

■衛生思想の普及 には殊の外意を注いで其の寄宿生に對しては一にも二にも清潔を說ふ事を重んずる事を教へて居る爲め其の効果は頗る大なる者がある殊に普通學生に對して退校の際毎日入浴せしめつゝ有るは人をして甚だ奇異の感あらしめるが由來入浴嫌ひな鮮人に對しては何よりの思ひ付であらうと人をして首肯せしめる様な方法を講じて居るのは此の學校の特色として面白く感ぜられるのである（平壤日生）

時局の人



□東京駐箚西國公使メンデス氏が本國政府からの時局に關する訓電を手にして意氣昂然たるところ（上）
□北京政府の副總統黎元洪氏が武義親王に封せられ、今、亦、將に元帥たらんとする景氣のいゝ顏（下右）
□黎元洪唯一の片腕たる陳宦將軍、四川の南風を一手に支へて將に公爵を授けられんとす（下左）

◉稀らしき大豺
慶北義城郡義城附近に於て銃殺されたる大豺は身長五尺餘重量十數貫といふ稀しき代物にて六疋の子が附き纏ひ居りしも間も無く全部死せり慶北務部にては同豺の屍體を研究材料に供せんが爲め十二日午後七時釜山に持ち來り辨天町剝製師山崎信治方に剝製方を依賴せり（釜山）

◉東京附近の大雪
東京地方は昨冬より今春にかけて例年になき暖かさなりし爲未だ積雪を見たる事稀なりしが十日夜半來寒氣頓に加はり十一日早朝より降り出せる雨は忽ちにして霙と變じ霏々として積む事三寸正午頃最も激しく午後二時に至るも尙ほ眞綿を引千切りたる如き大雪盛んに降り荐り大路小路は只白銀の眺め美しき光景とはなれり（東京）

…の要方に下女を…十二月二十三日お挪籍となりだる…と稱し白砂糖三斤外十餘點…同家に奉公中時々主家の用向きにを騙取し昨年十一月十日には本町二…和町伊丹運送店方原ノ熊ネ…中元秀輝（三五）は同家にて通關運送に…へらる（平壤）…し元山に向けて逃走し汽車賃其他に…

◉馬鹿花賭博
京城賓葉町二丁目松本佐一（三七）北米倉町白鳥築助（三七）大平町二丁目岸岡輝吉（四十）旭町一丁目山本久吉（二九）同人內緣の妻松尾うめ（三七）北米倉町神田寿吉（三七）等は三月九日午後九時頃神田方にて馬鹿花と稱する賭博を三錢賭けにて開帳中本町署の巡査に踏み込まれ何れも檢擧されて檢事局に送られたり

◉阿片の量を過る
京城公平洞五十一番地金蘭玉（三三）は十日午前四時頃自宅溫突內にて苦悶を始めたる騷ぎに急報に接し鍾路署より官醫師出張檢視の結果同人は前夜十二時頃腹痛の際治療の爲め阿片を多量に服用したる爲め昏睡狀態に陷りたるものと判明し加療方を致へて家族に注意せしめ居れりと

◉牛二頭の轢死
去る十日午後三時文川行の汽車が德源を發し古城里踏切を通過中折から牛二頭を牽きたる農夫が同踏切を横切らんと差懸りし際牛は風を切つて進行し來る汽車の響に吃驚して線路に向け飛び入り遂に二頭共轢死を遂げたり（元山）

◉第二艦隊軍人宛郵便物
第二艦隊（佐世保）各艦の郵便物は左記に依り發送する便宜とす
▲第二艦隊司令部、軍艦筑島、新高宛にして三月十五日迄に到着見込のものは（吳）其の後は（山口縣三田尻）▲軍艦矢矧、筑摩宛にして三月十三日迄に到着見込のものは（吳）其の後は（山口縣三田尻）▲軍艦橋名宛のものは當分（吳）尙は來十五日を以て旗艦を關名より國島に變更の豫定なり

演藝

△大正館 十四日より新狂言と差替へたり主なるもの左の如し ▲實寫ベルパの風說▲滑稽ウム君の戀戲▲天然色西部劇馬の入院▲新派悲劇ぬれ衣全三卷二十七場▲軍事活劇…全三卷六千呎▲…

△黃金館 十四日より時節大興行のため全部を差替へたりその主なるもの左の如し ▲實寫埃及の荒頭▲滑稽競爭結仕▲特別大活劇地中の呼全五卷▲史劇小田原合戰附稱怪談狸御殿全四卷百五十三場

△浪花館 恭賀、如雲合同一行の浪花節は愈々十四日限り打揚けの筈

台所 其の日

△卵サンドウヰツチ 材料は胡瓜、卵、酢、鹽、胡椒、サラダ油等、卵は水から十五分間茹で水にとりよく冷やしてから皮を剝き小口から薄く切り、胡瓜もきれいに皮を剝いて縦に薄く切り殼きパンを薄く切つてバタを塗り其上へ一と通り胡瓜を敷き卵をのせそれにサラダ油と酢胡椒等をよく混ぜたものを少しかけ全體に鹽を振りかけ其上へバタの附いたパンを伏せ重ねて小口から三つ四つに切つて皿に附けます永く保存するにはなるべく風にあてない様にすることです風にあふさパンが反つてしまひますから濡い布巾をのせるか緊く絞つた布巾で包むかしなければなりません

商況

東京株式特電
十三日 前場寄付 大引
[illegible]

債券現物特電
[illegible]

公債直取引
[illegible]

深川在米特電
[illegible]

東京期米特電
[illegible]

大阪株式特電
[illegible]

大阪三品特電
[illegible]

大阪期米特電
▲十一日前場
[illegible]

雜報

●製粉底直接近
[illegible]

惑に著手 強氣側は弗々思…
[illegible]

値下 各社の建値は尙幾分値開きあるを以て

平衡を保つ迄に引下を行ふ必要
[illegible]

●石油の其後
[illegible]

●外油は頗る困難
[illegible]

內地油の値上は再考を要す
[illegible]

●木炭依然安持合
[illegible]

驛者四十一三錢處に再び軟勢
[illegible]

●果類の近況
[illegible]

下關相場
[illegible]

京城正米
[illegible]

南大門の廻穀
▲十二日分
[illegible]

京城雜穀
[illegible]

行買仲買店 吉
仁川現物市場

仁川期米
▲十三日前場 九錢高の入電に一端四十錢高移
[illegible]

市場雰聞
▲前場跳ね返す
▲大激戰を演じ終に大跳ね返し
▲大買物顯はる
▲前場の手振り
▲當限大解合
▲今筋運轉賣
▲(イ)の大買物
▲裏面の解合
[illegible]

仁川米豆取引所
十三日の五月限
[illegible]

▲大阪鐵工株
北濱たより
[illegible]

▲(○)りの大商內
▲五節の活況
▲底入れ乎否乎
東京に於ける買聯合成立 形勢何に一變
新規買の詳田方面大手
勞力に加へ軟軍の買方一新
又々今筋の復活し大活動を演出
▲弱氣の眼先觀
[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店 電話長四二二、七三九

演藝案內

櫻井町 大正館 電話八七三

明治町 浪花館 電話二六〇番

壽町 壽館 電話一〇五〇

黃金町四丁目 黃金館 電話二六三七

目ぐすり中の目ぐすり 岸田 精錡水

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
電話 振替貯金口座
支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

大日本優清等酒 ハツクル

品質純良 衛生無害
攝津灘御影町 釀造元 嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

浪板洋釘土工用具
石油揮發油諸油
大谷金庫建築金物
消防用具類
和洋ストーブ
京城本町一丁目 諸官衙御用達 佐野彦商店 電話一六三番 振替京城一二〇番
◉地方よりの御注文は代金引換を以て迅速に御發送可仕候

種と苗
蔬菜、草花、山林用種子、果樹、山林、觀賞苗樹、球根花卉、和洋農具、各種肥料、驅除劑
春季說明附營業案內無代進呈
京釜線烏致院 電話四二七番 振替京城三三七番 朝鮮興農園

外科 內科 花柳病 皮膚病
京城壽町（本町二丁目入） 島崎病院
△入院隨時△普通病室隔離病室設備△診察夜九時迄△電話二七三六番

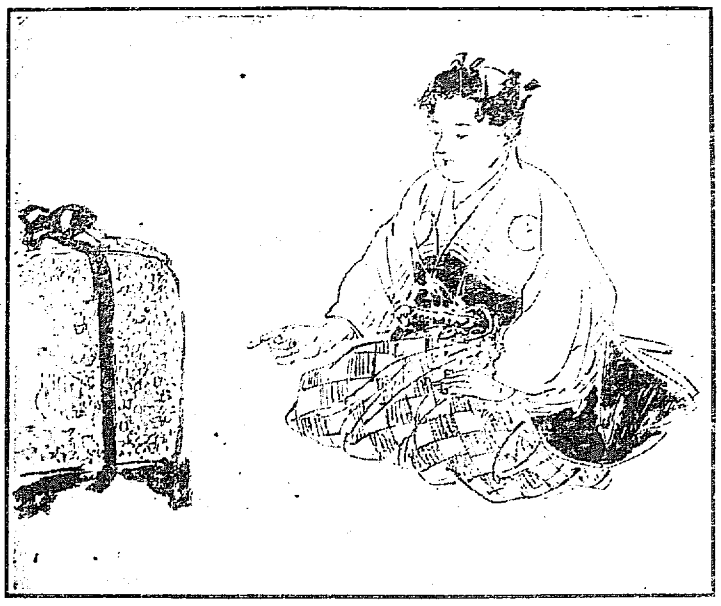
國產 煙草代用
森永 ミルクキャラメル
火災は一時
森永の事業一部を中斷せり
されど森永の事業を代表する
ミルクキャラメルは嚴然として其雄偉を發揮し
第二工場に於ては倍額の製造となれり
此際特に各位の御愛用を希ふ
ポケツト用 大廿個入 小十個入
東京 大阪 森永製菓株式會社

越後大評定

第百五十八席 早川貞水口演

仁兵衛闘根彌次郎 ご邂逅す

是に仁兵衛夫婦は、今日此の如く法體となつた顛末を、交はる〴〵物語りますと、彌次郎短刀カラリと投出し、ドッカと坐し「彌」エーイ惜しや、若者を殺したり、他人の事とは思はれず、嘆きの程御察し申す、併し宜くも改心なされて其姿、就いては[illegible]家のため、大惡人の小栗を捕へて拙者へ[illegible]る屈強の證據人は其許何卒御身證人となり、小栗を亡ぼし、下野守殿の敵を討ち、且つは忠義の面々を世に出し給へ」と、茲に約束なして別れたりと、抱月が長物語に、光圀公はじめ聞く者一同感心なし、是にて早や證人も十分に揃りたり、先づ第一に豊國仁兵衛、第二に大野次郎兵衛、第三に關根彌次郎、第四に瀧口三郎兵衛、是だけの活きた證據あれば、最早再調べ仰出し、大老酒井雅樂頭を取つて押へるに差支なしと、愈光圀公より、越後家騷動の再調を仰出されました、此時は將軍御代替り延寶九年改元あつて元和元年酉四月六日、阿部豊後守正武の御掛りにて再調べと云ふことに相成りました、豊後守時に二十二歳、此人は幼少より怜悧な人で御座いました、幼名を鐵丸と云ひましたが、蛇は寸にして其氣を吐く、栴檀は二葉より香ばし、と申し、鐵丸十一歳の時で御座いました、鶉を大層御好み遊ばす所より御出入の御醫師黒井玄碩と申す者が結構なる鶉籠へ、雌雄の鶉を差上げた、鐵丸大に喜び「鐵」是は父上様より下されしか、母上様より下されしか、それとも親戚の衆より下されしか、誰何様よりの下され物か、玄「實は何の某の守様より御內々にて此を若殿様へ差上くれとの御頼みに依り、持參仕りました」「鐵」聞くと鐵丸サッと御氣色を變へ、玄碩をハッタと睨み、「鐵」さて〳〵其方は不埒な奴だ、[illegible]父様が御役を勤め、父上様當今御役を勤めて御出らつしやる、其子たる乃公へ何の某の守様より、內々にて差上ると云ふは、是れ即ち權門賄賂と云ふもの、左樣な物は見るも汚らはしい、此鶉早速持歸れ」必竟乃公が此の如きものを愛せばこそ、之に付け入つて兎や角う申し來るのである、早々あれなる鶉殘らず放し遣はせ」と仰しやつて、飼ひ置かれたる鶉殘らず放ち遣りました、一同その御器量に感服いたしました、又十三歳の時の事で御坐います、以前は下總忍の御領分に居らせましたが、此時分は奥州白河に移り十萬石を領せられました、初めて御國へ御入來の節御領分境の庭刑場に梟首の懸つて居たのを、「取除けませうかと伺つた所「鐵」イヤ〳〵取除けるには及ばぬ其まゝに差措け」との御仰せ故、御目障りとは思ひましたが、其まゝ放つて措きますと、熟々御覧せられて、鐵丸殿御落淚あそばしましたから、御近習が「何故若殿には御落淚あそばします、男子十三歳にも至れば其古へは戰場に向つて功を立てたる者も御坐る、如何に世は太平たりとは云へ、獄門臺の首を御覧遊ばし、御落淚なさるとは、甚だ以て御柔弱の至り、剛勇たる大將なればこそ、鐵砲矢叫びの音百千の雷の一度に落ち掛るやうな中でも沈勇にして其[illegible]で御坐る、[illegible]配宜しきを得初めて勝利を制す[illegible]の大將にては、其下[illegible]御行き届かざるを以て、常に敗[illegible]相成りまする、見苦しきの[illegible]に淚を流さるゝこと、大將たる御身として甚だ見苦しき次第、以來御注意を[illegible]はしう」



お聞きなさい

▲強奪を圖る教諭 和歌山縣[illegible]師範學校教諭[illegible](ト)といふ男は教育者に似合はず非常に身持の惡い男であつたが金に困つた結果同市港北町の某小學教員に脅迫狀を送つて金錢を強奪せんとしたことが知れて遂に監獄に投せられた

▲三百年經つた大古狐 三重縣名賀郡蔽原村地方では一二箇月前から、しきりに怪獸が現はれて、農作物を荒し廻るので、一同折があらば退治て呉れんと待ち構へて居る折柄、三日の夜半、同村松並鹿藏方へ現はれたのを逃しもやらず竹槍で突き殺して見るとそれは三百餘年を經た古狐で全身銀色の毛が生えて居たさうだ

日本一 宮內省御用 マルカシ印 最上清酒 電話二四五番 京城出張所 日本酒精株式會社 太平通二丁目

泌尿器病 入院隨意(診療夜九時迄) 腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔瘻 皮膚病 專門 永樂町二丁目 金光教會隣り 安部醫院 電話一九四一番

三月十五日九星 舊二月十二日辛亥 本命九紫 南 赦 先勝

[illegible]

迷ふ勿れ 腦病神經病者よ

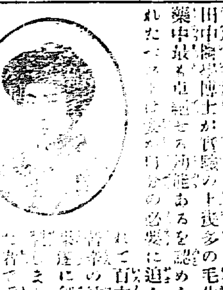
島村醫學博士有効證明の健腦丸は幾多の患者が實驗して其偉効に驚く唯一の腦神經衰弱諸症の最適藥である。常用すれば逆上を引下げ便通を快し記憶力を增し中風卒中を未然に防ぎ危險な腦充血を治す。

かゝる時腦病を自覺せよ!
一、逆上頭痛耳鳴眩暈起る人、
二、神經痛み仕事手に着かぬ人、
三、頭腦に重き物被る心地の人、
四、便秘又夜分眠られざる人、
五、頭腦茫こし健忘の人、
六、事務執るも直疲勞する人、
かゝる兆候起る時スグ健腦丸服用を怠る勿れ
(價)一週分七十錢 二週分一圓四十錢 四週分二圓五十錢
大阪心齋橋二丁目 丹平商會藥房
大阪市平野町堺筋 丹平商會分店
東京日本橋銀屋町 丹平商會支店
▲賣捌は全國有名藥店に取次ぐ

數ある中をM印に特に撰ばれて長き違に御買上の光榮を得たる最優良品と御記憶願ます
三田土ゴム製造合名會社製造
發賣元 京城本町四 飯田商店

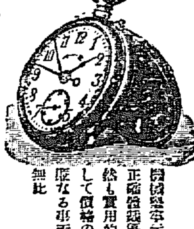
▲廣告▼
博士實驗 毛生へ藥

田中醫學博士が實驗の上幾多の毛生藥中最も卓絶せる効能あるを認められた[illegible]の必要に迫られて[illegible]



除拔毛脫毛の発(?)[illegible]に確に毛を生やす[illegible]多大の賞讃を受て居ます[illegible]の方へ[illegible]して御通[illegible]
東京[illegible]地一丁目[illegible]

新荷着アンクル式片側懐中時計



構造堅牢示針正確耐久堅實然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比

[illegible]
十九圓 十八圓 十三圓 十九圓 十八圓 十七圓 十九圓 十六圓 十二圓 十二圓 十一圓 十二圓 十八圓 十二圓 十八圓 十六圓 十二圓 十九圓
[illegible]

自轉車、洋酒、各國貴直輸入商 ミシン機
京城本町二丁目電話九七二番
イングレッシー商會

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
[illegible]
京城日報社 寫眞製版部

世界の人氣は更に愈々
[illegible]煉齒磨に集る
[illegible]マードに
本舗 大阪 下尾鐵也商店 ● 關西代理店 下尾贊平支店

再版 改訂增補
朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著
朝鮮不動產登記申請書式並心得
▲紙數四百八十頁 代價金壹圓(郵稅拾錢)

本書中不動產登記の部には土地調査に關聯せるもの及不動產登記法に依る申請書式、官公署の登記に關する囑託書式等併て百貳拾餘件並に印鑑屆、印鑑證明願、改印屆、土地變更事項に關する證明申請(京城府廳所定)委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を揭て加之官通牒、登記に關する決議、實例等苟も申請人の參考と爲るべきものは擧て各書式の末尾に之を揭記し以て疑獸を釋明し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得べき程度に之を編纂せり土地所有者、不動產上權利者、會社、代書者必備の參考書たり

發行所 京城日報社

質 京城黄金町一丁目(永樂町停留所北入) 堀佐營業所 (電話六三九番)

醇良清酒 仁川本町四丁目 吉金酒店 電話七六四番

汽車 京釜 南行 / 京義 北行 / 湖南 / 京元 [illegible]

京城日報 第三版

帝都より 鐵竹

○今や獨佛兩軍の戰爭は白熱ヴエルダンに於て龍攘虎搏互に必死を期して戰ひつゝある光景を想起せば實に吾人をして血湧き肉躍るの思ひあらしむ而かも其の慘狀果して如何。

○若し日本の軍隊を以てヴエルダンの堅塞を防禦せば獨軍をして一歩たりとも西進せしめざる可し然るに佛國は數日前ドーモンの堡壘を敵手に渡して退却し三月七日ルニユーウキル高地も亦敵の攻陷する所となる吾人は此の飛電に接して友邦國の爲めに頗る不安の念なき能はず。

○獨軍はヴ要塞攻擊を二月二十日より開始し僅か十六日間にしてドーモンの堡壘とルニユーウキルの高地を攻陷したることは實に其の一大成功と云はざる可からず。

○ヴ要塞は其の前方ツ字形に幾多の堡壘あり獨が其の要部を攻陷してヴ塞に迫ることは實に容易の業にあらずと雖も僅か十餘日にして一堡壘と一高地を奪取したることとなれば此の上獨軍が更に犧牲を顧みず猛進猛擊して其の目的を達せずんば已まざらんと欲するや明なり。

○ルニユーウキル高地はマースの北方に位地してシヤルテー堡壘は其の眼下に在り獨軍が此の高地よりシヤルテー堡壘を猛擊せば佛國如何に死守するも退却の已むを得ざるに至るか或は鏖殺せらるゝの悲運あるのみ。

○ドーモンはマース河の右翼オードロモンの右翼に在りて堡壘中の要部を占むされど獨軍が北の堡壘の高地に巨砲を据ゑて猛擊せばヴ要塞は其の十字砲火を受けざる可からず是れ吾人の佛國に對して頗る不安の念なき能はざる所以なり。

○吾人は固より聯合軍の勝利を衷心より希願するものなれども獨逸軍の强きは事實にして聯合軍の振はざるも亦事實なり、是れ獨は最初より其の恃む可きを恃み恃む可からざるを恃まず、之れに反して聯合國は其の恃む可きを恃まず恃む可からざるを恃みたるに因る。

○是に於て吾人は自信厚くして自己の實力を恃むもの、鬪ふ所敵なきを知る我が國民も亦豈に獨逸人に學ぶ所なくして可ならん乎。(十日)

猩紅熱の研究 大連の醫師間にて

大連には昨年猩紅熱の流行を見たるが本年も一層流行し尙ほ發疹窒扶斯の流行するありて患者續出し而して其の患者の多數は日本人なる爲め一般に不安を懷きつゝあり

▽猩紅熱の病原菌 は未だ發見せられず隨つて其の豫防法も一定する能はざる有樣なるが元來本病は撫順附近に發生し漸次南下し來れるものにて此の鐵路に依り想像するに露國方面より鐵路輸入されたるものに非ざるかとの說あり勿論之れは想像に過ぎざるが故に此の想像の下に豫防撲滅の手段を講じ難きも北部奧地より南下し來れるは事實なるを以て大連においても豫防撲滅に努むると共に一方汽車檢疫を開始するの必要あるべしとて醫員間には目下それが研究問題となり居れり

▽其の傳播力 は左して猛烈といふ程にあらざるも一昨年は罹病者十五名にて格別世の注意を惹かざりしに昨年に至り俄然其の數を增し本年は二月中既に二十七名の患者を出し一箇月中に二十五名の患者を見るに至れる始末にて年々猖獗となり來れるより撲滅の必要を感ずるに至れる所以なり土地特有の病氣にあらざるも斯る有樣にて今や殆ど大連における一種の風土病と化し現に猶ほ患者の發生を見つゝあるは併し死亡率は患者の增加の割合に少なく却つて減少の傾向あるは不幸中の幸福といふべく此點は稍や安心なれど何せよ一種の傳染病なるが故に患者一度發生せんか其家は忽ち交通遮斷を受け罹病者は避病院に送られ總ての上に非常なる損害を受くるを免かれず隨つて之を嫌忌するの念は邦人一般の上に最も深刻を加へつゝあり

▽一種の小兒病 とも云ふべきものにて患者の多くは三四歲より十五六歲の男女なるが間々大人の罹病者もなきにあらず且此の病氣は九月頃より翌年三月頃まで流行するを以て或醫師は冬季暖爐又はスチームを用ふる結果餘りに室內を乾燥にし其の室內乾燥のために病菌の跋扈を來たすものと認定し故に一名之をストーブ病又はスチーム病と呼ぶに至り又その結果として猩紅熱豫防用と稱する室內濕潤器の發明を見たる程なり既に小兒病なるが故に小學教育の上にも影響を及ぼし學校衞生の嚴を加ふると共に家庭を組織するものは其の小兒に對し外出交遊を避けしむるの風を馴致し中には家族を內地に歸還せしめたる者さへありて其影響甚だ面白からざるものあり

▽日本人間に流行 し支那人の間には餘り流行せざるも亦本病の一特質なり風土病は多く其の地の土著人より傳播するものにて非衞生的なる支那人の存在は疾病豫防上格段の留意を要することとなるが本病に限り患者支那人に少なきは不思議たり或は支那人の間に隱れたる患者のあるを未だ氣付かずして其れが爲め年々流行するにあらざるかとの說もあれど確かならず併し豫防撲滅の一手段として此際支那人につき檢病を爲すも無益にあらざるべしと云ふもあり兎に角醫員間にては昨今種々に研究なしつゝあり(大連)

北鮮の旅 (9)

東拓理事 村田俊彦

五、咸興平野

支那牛車

支那牛車は普通の牛車よりも頑强にして、車軸甚だ長く輪外に出で、其の行くや車軸と輪孔と相磨して一種の哀聲を發す、其聲や晚風に入りて甚だ悲し。車軸の長きは險惡なる道路を過ぐるも顚覆せざらしめんがためなり。其の軋聲を發するは、注油の足らざるにも因るならんも、或は猛獸を避けむためなりとも稱せらる。蓋し猛獸は多く異樣の聲を聞かば他に避くるの習性あるを以てなり。北鮮の道に於ても、馬車を山中に行るに、熊の出づべしと稱せらるゝ處に於ては、馭者時々喇叭を吹く、蓋し同一の趣旨に出でしものならむ。又支那牛車の牛の胸邊に鈍聲を發する一種の鈴を掛くるものあり。其聲蒙古の駱駝に掛くる鈴音に似て小なり。牛の步むに從つて鳴る。蒙古の駱駝隊の駱駝の鈴は猛獸避けの意にも出づと雖も、主として馬賊避けのための鈴なり、駱駝隊が蒙古の沙漠を行くや、馬賊に遭遇すること少からず、馬賊之を襲ふに、强盗的に出づることあり、又深夜隊に尾し、密かに駱駝を奪ふことあり。駱駝に鈴を付せば、此際直ちに音を發して容易に之を察し得べきなり。

定和陵と歸州寺

陵殿を過ぎ更に進めば定和陵に達す。定和陵とは定陵及び和陵のことにして、定陵は太祖の父桓祖大王の陵、和陵は其母懿惠王后崔氏の陵なり。太祖以後の陵は君王皇后各々其陵を異にすと雖も、定和陵は二陵前後に接し、相並んで一丘の上に在り。陵の邊數千步、老松蓊蒼として太古の風あり。定和陵の東北雪峯山腹に歸州寺を見る。歸州寺は高麗の末世に於ては淨水寺と稱し、溪水淸潔なる堂下を流れ、太祖此處に書を讀みしことありと謂ふ。今なほ其書を讀みしてふ讀書堂と聖門とを剩す。歸州寺の名は太祖位に即くに及び改められしめしものなり。寺に上らんとする降魔坂路の傍に將に倒れなんとせる降魔大將軍及び護法大將軍の神柱あり。其古雅なる蠻的の顏面に粘紅異遠慮なく降りかゝり、おかしくもあり又面白くも感ぜられたり。咸興の附近には此他名勝少からず。馳馬臺あり、樂民樓あり、萬歲橋あり、祭星臺あり。馳馬臺は太祖が馬術を練習せし處、祭星臺は太祖が太白星を祭りたるところなりと傳ふるところなりと云ふ。樂民樓は咸興平野を一眸の下に收むる景勝の地なり。萬歲橋は其長さ二百八十餘間にして城川江に架せる長橋なり。咸興より西北十里餘にして咸興炭坑及び仙佛山の金鑛に達す。

歸州洞にて 村田旭仙

▲訂正 [illegible]の如く訂正す

ス博士講演概要(續)

今や從前と異なり多數の學校ありて諸君の爲めに[illegible]或は諸君が高等教育を授けらるべしと云ふ者あれども若し諸君にして現在諸君の爲めに設けられたる學校を利用し僅に一層高等の教育を受くるに足ることを示さば諸君は必ずや之を得む何人と雖も之を諸君より奪ひ去るものあるべからず又朝鮮人中には日本人が總ての物を奪ひ去ると即ち鑛山を取り漁業を取り最肥沃の土地を取りつゝあることを訴ふる者あり然れども見よ朝鮮は天與の資源饒に山は鑛物に富み海は魚介に富めりされば何人か其の天然の利源を開發するは當然の勢なり朝鮮人にして爲すなく又日本人にして爲すなくんば他の誰人か之を爲すべし當半島に住せる朝鮮人は數百萬の多きあり而も日本人は僅に數萬人に過ぎず然るに若し諸君にして彼等日本人をして專ら此等の事業を爲さしむるが如き迄に懶惰に不明に且愚鈍なるに於ては彼等日本人は之を爲すは勿論の事なり。又朝鮮人中我等は國語を學ぶ者あれども吾本國には斯の如き諺あり即ち日本語の修得は諸君をして一層賢く一層鋭く一層見識廣き人たらしむ諸君が日本語を學ばざるを得ざるは一の利益なり諸君は能く之を學ぶに依り一層生活の向上を得る諸君が日本語を學ぶの巧なるは日本人が朝鮮語を學ぶよりも優れり諸君は當半島に入り來る日本人に比し一段の利益を有せるなり予は[illegible]朝鮮人が其の過去を誇るを[illegible]ここは予の知れる何れの國民とも强しと予は今諸君に對し諸君は果して其の過去を誇るの權利を有するや否やを問ひ且諸君が之を有することを[illegible]明したりされば光榮ある未來を作るの重任は一に懸つて諸君の双肩にあり諸君は光榮ある未來は只待つ[illegible]を利用するに非ざれば決して[illegible]なるを得ず徒らに過去を慕ひて泣き暮らし空しく未來を望みて安坐する勿れ諸君の祖先を辱しめて學び得る限り學べよ努力せよ決して失望の暇なき迄に多忙の生活を繼續せよ諸君若し能く斯の如くならば諸君は其の同情たる日本人の尊敬を博し諸君の未來は過去の何れの時代よりも幸輝あるものたるべし然らざれば諸君は只過去の記憶を存するに止まらむ(完)

停雲會詩集

讀臨撫松(何志)入雲出雲帖 和李 績施韻 華人 鄭 佺 樹

夢○爲○胡○蝶○已○婆○娑○、胡○蝶○騎○鴻○夜○渡○波○。同○是○人○雲○雙○翅○濕○、出○雲○匯○々○曉○山○多○。

丙辰新年 撫松 鄙 尙 志

之亭曰 寵得離合體要玫

堯典禹謨存自然○古今一統挺磐堅○他○無遠邇恩沾老○人絕親疎德政賢○鶴○舞○龍○吟○調○盛○樂○旭○光○旌○影○映○淸○漣○ 王○春○景○月○多○嘉○瑞○、既○祚○升○平○第○五○年○

之亭曰 第六有雅法 新年二歲(押年) 同 人

東○風○吹○度○滿○山○川○、箕○子○遺○墟○霞○紫○烟○。不○戀○南○洋○波○上○島○、旭○旗○飜○處○見○新○年○。

之亭曰 自然神韻 無題 同 人

鬼○園○麗○日○好○風○光○、柳○煙○花○香○繞○玉○房○。有○女○好○儔○多○時○立○、惜○憐○無○力○芳○心○傷○。看○彼○小○鳥○飛○自○在○、間○彼○溪○水○入○大○海○。年○不○待○人○凋○玉○顏○、勝○裡○玉○梅○花○添○彩○。君○子○學○成○歸○何○時○、元○央○爲○匹○遊○小○池○。乍○對○鏡○蓋○照○悲○容○、一○顰○一○笑○何○事○思○。

日報歌壇 京城 高須賀桐蹊丘

□スパーク

悲しみてふ力大いなりかるが故に電車待つ間を唄ひてありし

我が胸の暗き庭迄劃るかと鋭く蒼き電車のスパーク

□枯れ林の中より 龍山 島石

山鳩の落葉踏みふみ啼きてける夕の林寒き風吹く

知られぬ鳥枯枝とびてしきり鳴くこの夕ぐれの淋しや一人

十四日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金七拾錢 郵税共一ヶ月八拾五錢 三ヶ月二圓四拾錢 六ヶ月 一ヶ年 ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲記事欄內一行金壹圓 ▲指定一行金拾錢增 ▲三號活字は五號活字の二行 ▲六號活字は五號活字の一行 ▲特別同

發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 田口政五郎

太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社

電話 編輯局長三四五番 營業部長二二六 ... 振替貯金口座京城三〇〇〇番

大阪期米特電 (十三日)

	六月限	七月限	八月限
	一三〇六〇	一三一八〇	一三二〇〇
	一三一七〇	一三一六〇	一三一七〇

▲後場の手振り 前場の取引に至り三十四錢と押したるが大阪五節は十八錢六節に五十三錢と引返し移りに買物多く益々に四十五錢と跌落し三錢と押し四錢と呼び配の散會 今八千石 各節に亙る

▲(イ)續て買ふ ▲(吉)〇り △大商內 前場大買物を受け立ちて一頓挫したるも引續き強調を示し三店共に相場の鞘

▲後場小波瀾 後場は前場に續き買物多く一寸に引締り大阪現物の安き入店を示すが直に[illegible]

合計一萬九千六百五十石 賣方 [illegible]

十三日の五月限 後場 寄付 十四四十三錢 止 〃 十四四十四錢

三月限 一萬石 四月限 五千四百五十石 五月限 四萬七千七百石

萬代不朽の寶典

格言大辭典

文學博士 芳賀矢一先生(和の部) 第一高等學校教授 安井小太郎先生(漢の部) 文學博士 服部宇之吉先生(洋の部) 共編

▲四六判千百餘頁 定價二圓五十錢 ▲僅か二十日間に初版五千部賣切れ ▲更に一萬部限り特價金貳圓貳拾錢 ▲郵稅內地金十二錢 朝、臺、樺、淸半減金二十錢

一、本書は著者三先生が九ヶ年の日子を費し今年始めて完結せるものなり、東西の智者千古不磨の名言は悉皆此中に拾集せらるゝを以てさながら數十卷の經書數百冊の典籍を結晶し越羅斯せるものなり

一、本書所收の格言は一々其出典を舉げ詳解を施し且(一)宗教、哲學(二)道德、修養(三)倫理(四)政治(五)教育(六)軍事(七)處事、處世(八)交際(九)衞生(一〇)實業(一一)學藝(一二)雜の十二部門に分つ、

一、本書の內容は千萬年を經るも變らざる本書の內容は千萬年を經るも變りなくして二百年使用するとせば一年僅か一錢にしか當らない

無類無比の安價し限りに之を以て子女を教訓するの資料に供せば如何、疑いなく格言は千萬言の絮說よりも利目多し、一度幼年の腦裡に刻み込まれし格言は生涯を通じて忘れぬものなり。隨て兒女の品性を永久に感化し得るに相違なし

一、「家庭に於て父母が之を以て子女を教訓するの資料に供せば如何

一、軍人教育家の如き直接教養に當る人は勿論、官吏、議員、裁判官、辯護士、學者、新聞記者等の筆に舌に生活する人々の一日も座右に缺くべからざる者特に初版に於て寺院の注文多きは之が說教の好資料たるが爲なるべく老人が播き始むれば退屈を知らず斯る趣旨の注文も多し斯く資行の好況なるは總ての智識階級を通じて便利なるが爲なるべし速に求めずば紙留腦貴のため特別搬回さるべく品切の恐れあり

東京市小石川區東青柳町五 文昌閣發行 振替東京三五〇四番

東亞煙草飛躍記念

京城、仁川兩市に限れる

「最も趣味ある景品附賣出し」

賣出品

◈朝日 ◈ダリヤ(各一ボールに付景品券壹枚)

◈水府 ◈薩摩 ◈さつき(各二袋に付景品券壹枚)

◈福壽草 ◈白梅 ◈あやめ

▣賣出期間 二月廿五日より三月十五日まで

景品種目

▲壹等 白米(四斗入)一俵、柱時計 二十五本

▲貳等 二枚續き毛布女持煙草入 百二十五本

▲參等 朝日一ボール、玩具 二百五十本

▲四等 牡丹臺一ボール組合文具 千二百五十本

▲五等 八千代一包、タオル

ハネビー煙 數萬本

△一本も空籤なし

▣抽籤期日 三月廿日京城商業會議所

▣景品引換 三月廿三日より四月十日まで

◎景品引換所 京城黃金町 煙草組合 仁川新町 煙草組合

御注意 今回は實用品たる刻を加へ然かも賣出數極少數に付賣切れざる內に御註文被成下度尙所在卸賣店に景品券なき節は下記兩賣捌店へ直接御用命願上候

大正五年二月

東亞煙草株式會社元賣捌所

京城官煙組合

仁川官煙組合

愈々賣出は今明日限り

「此の好機會を逸する勿れ」

○朝鮮師團編成發表 聯隊旗は兵員充實の後下賜

朝鮮增設師團編成は來る四月一日を以て愈々發表する事に決定し本月中旬を以て派遣隊の交代を了する筈なるが新聯隊旗は兵員充實の上下賜さる可し(東京電報)

○北軍連捷公報續々

湖北省技光よりの公報に曰く三月八日叛軍の大部隊は官軍一箇旅團と高家場附近に戰ひ官軍は叛軍の背面に向つて夜襲を行ひ多大の損害を與へ叛軍は算を亂して東溪に向ひて退却したり又瀘州來電公報に曰く官軍は三月七日叛軍の小部隊を驅逐しつゝ江安を攻擊し叛軍は永寧方面に退却したり山砲及び機關砲小銃等を鹵獲せり尙ほ湖南よりの報道に據れば官軍は三月七日麻陽を奪還し貴州軍は貴州省同仁に向つて敗走したり(北京特電)

○交代兵の渡鮮

朝鮮交代兵第十一師團步兵第十二聯隊(丸龜)第四十三聯隊(善通寺)第六十二聯隊(德島)及第五師團步兵第七十一聯隊(廣島)第二十二聯隊(松山)の各聯隊は山口第四十二聯隊第十一中隊百五十名と共に十三日琴平丸にて釜山に向ふ(門司特電)

○李斗璜氏葬儀 誄詞幣帛を賜はる

十三日午後全羅北道長官故李斗璜氏の葬儀執行されたり當日勅使同長官々邸に差遣誄詞の御沙汰ありて後幣帛を賜はる午後二時出棺多佳亭に於て崇嚴なる佛式葬儀を營む式は高田導師の引導に始まり幾多の弔詞朗讀あり諸經理に遺族親戚其の他會葬者の燒香放鳥等ありて四時閉式す會葬者約三千人靈柩の通路に沿ひて堵列せる見送人無慮一萬餘儀仗兵附添ひ空前の盛儀を極めたり(全州特電)

●東淸京奉南滿代表者會議 五月一日より京城にて開會

五月一日より京城にて開會の日支聯絡會議と同時に東京にて開會する日滿聯絡會議よりの歸途東淸鐵道代表者露國委員も立寄り東淸、京奉、南滿三線代表者會議を開く事に決定したる故京城には日露支の鐵道家集る事となる譯にて盛況を呈すべし

●陸軍諸會議

陸軍省にては既に經理部長會議三月九日より約一週間獸醫部長會議三月十二日より約十日間開會、十四日より約一週間法官部長會議、四月十一日より約一週間軍醫部長會議四月廿八日より約一週間參謀長會議、同五日より約十日間師團長會議等開會の筈にて軍司令部及び第九

●日支聯絡會議

日支聯絡會議は既報の如く五月一日より京城にて開會の筈なるが同會に提出せらるべき問題は割合に僅少にて日本側より提出のもの十一件、支那側より提出のもの六件、都合十七件にて既に頃日東京にて開會せし鐵道院、滿鐵及び鐵道局三代表委員の日滿、日支聯絡會議打合せ會に於て日本側のみの意見交換を了したりと尙同打合會にては此外日本側鐵道のみに關係の問題五六件を協議したるが其一二例左の如し

安東に於て鮮滿貨物受授引繼に關し責任分擔の件

安東に於ける積換貨物の積下料負擔に關する件

●日滿聯絡の主要案 歐露方面連絡貨物の擴張

四月二日より東京にて開會の筈なる日滿聯絡會議に提出せらるべき案件に就ては豫日東京にて開會せし下打合會にて協議を重ぬる所ありしが初め提出せられしものは六七十件の多きに達したるが餘りに主要ならざるもの及び此際解決を急がざるものは後日に讓る事とし結局廿二件に削減したりと其內最も重要なる問題と稱すべきは多年の懸案たる歐露方面との一般貨物連絡運輸に關する件にして從來日本より歐露方面へ赴く貨物にして連絡運輸成約せられしものは單に生糸、茶の兩種に限られたりしが今次の會合に據り更に之を一般貨物に及ぼさんとするものにして其品目乃至方法等に關しては此際發表せられざる次第なりと

●蠶業界の好望

朝鮮に於ける養蠶業は近來總督府に於て鋭意獎勵に力めたる結果昨年に於ては春夏秋蠶を合せて約六萬石の生産あり之れを內地の全生産額に比すれば微々たるものなれども年と共に生産力を增しつゝあり本年春夏秋の三季に於ける養蠶産額に就ては未だ確かなる豫想をなし難きも桑園の反別一萬三千餘町と概算し樹齡の長短に拘らず一反步當り六斗の産繭を得るものとし之れに在來の山桑を加算すれば本年は約七萬數千石の生産あるものと見て大差なかるべし一方目下の繭絲相場を見るに最近の取引に於て百斤信州の上一番物にて千二百六十圓を稱へ居り之れを昨年の同期に於ける百斤七百六十圓なりしに比すれば著しき暴騰にして斯かる繭絲相場の暴騰を來したるは一面歐洲戰亂の結果伊太利、土耳古、露西亞、佛蘭西等の養蠶國に於ける生産減退に依ると雖も他面には東洋唯一の蠶地たる南支那雲南貴州地方が革命亂のため本年の産出は不可能なる可きを見越し斯くの如き市況を見るに至れる次第なり故に本年は內地の蠶業界にあつても近年稀れなる殷賑を見る可く自然朝鮮に於ける養蠶家も給桑の最大限度迄飼育を試みんとする意氣込なり現に繭相場にても昨年石三十五圓位のものは本年七十圓以上にて賣行を見る可く本年の蠶業界は頗る有望の前途を控ふと云ふべし

●商議課金滯納 強制處分すべし

京城商業會議所大正四年度の賦課金の納入を怠りたる者千圓の多きに達したるを以て新定款に依り本月一日滯納者約九十人に對し督促狀を發し十日以內に納附す可き旨告知する所ありたるが其期限を經過する今日尙ほ完納に至らざるを以て十四日午後一時より役員會を開き直ちに強制處分を行ふ[illegible]右の滯納者の內六人の朝鮮人を除くの外は全部內地人にして中には故意に納入を怠る者もあれども新定款が商業會議所に強制權を與へられたるを知らずして納入を怠り居る向もあるべければ此際全然納入せざる者に於ては不穩當なる裁判沙汰にも及ぶ次第なりと而して新商業會議所が課金滯納者に對し處分せんとするは之を以て嚆矢なりとす

●鮮銀券發行週報

本月十一日に至る朝鮮銀行券の總發行高は二千七百九十六萬二千六百二十圓にして其內譯は正貨準備發行平均高九百七十二萬八百八十三圓保證準備發行平均高は千八百二十四萬一千四百三十七圓なり

●三線連帶運賃問題 繼續か將た撤廢か

▲協議會期 鐵道院、鐵道局及び滿鐵安奉線連帶貨物運賃割引期限が來る四月末日限り滿了に付き五月一日より如何に取計ふべきかの問題は鐵道界に於ける一大問題として近來八ケ間敷議論せられ其影響は思ひ掛け無き處迄波及し居れるが尙未だ根本的解決を見るに至らず近々關係鐵道代表者の會議を開き其席上に於て協議決定を見る筈なるが日滿會議開會前に決定せんと打合せ中なるより多分本月廿日か廿四五日頃より開會せらるべく滿鐵側よりは佃理事會社を代表して既に大連を出發せし旨通知に接したれば鐵道局にても委員を定め近々上京せしむるに至るべし

▲鮮鐵の立場 鐵道局參事 安藤又三郎氏談 元來本減賃は日本內地商品の滿洲方面へ移出せらるゝものに限り鐵道院、鐵道局は其二割、滿鐵は三割の低減を爲し更に同貨物に對しては安東驛に於て關稅免除の恩典あるべく議決施行せられたるものにして其期限が本年四月末日限り滿了に付其後の處置を決定せんと云ふものなるが滿洲行日本商品と言へば殆んど總て大阪を中心とし神戸、橫濱、東京等よりのものは皆無と言ひても可なり、今若し滿鐵側の主張するが如く安奉線の賃率を復舊して引上げむには貨物は大阪より船積みと爲して大連へ直送し大連より更に北上需要地へ配送する方[illegible]なるに至るより滿洲行貨物の大半は或は此徑路を選ぶに至るべく然るも滿鐵側は飽迄減賃撤廢を主張すべしとせば[illegible]側が單に會社の利害の爲めに[illegible]の爲めに減賃撤廢を主張するに[illegible]現行割引制度によりて連帶貨物の朝鮮鐵道を利用するは寧ろ國家的問題たる[illegible]を超越したる[illegible]即ち政府が巨億の工費を投じて建設したる朝鮮鐵道は固より國家經濟的に最有効に之を利用せざる可らざるなり從て鮮鐵の存在の意義よりするも減賃繼續は飽まで主唱せざるを得ず鐵道院も貨物が船積させられ大連に直送せらるゝに於ては大阪下關間の運賃一割を失する次第なれば朝鮮鐵道と同一利害を感じ依然朝鮮鐵道同樣減賃繼續を希望すべし即ち滿鐵對鐵道院鐵道局の論爭となる譯にて鐵道局たるもの如何なる場合となるとも到底讓步するを許さゞるなり

●穴居と副業獎勵 京畿道

始興郡永登浦附近に於ては從來朝鮮人が冬期の防寒の爲め土穴を設け此處に蟄居して卑猥なる歌舞音曲又は飲酒賭博等を爲し一種の下劣なる俱樂部たる如き弊習ありたるが同郡當局者は此惡習慣を矯正せんため昨年冬より向ふ十箇年間の計畫を立て每戶一人宛必ず此穴居に集合せしめ藁細工叺莚等の製作を爲さしむることとしたるに最初は之れを厭ふ者もありたれども從來無用の金錢を浪費せしに反對に生活に餘裕を生じ尙且つ多少の蓄財をさへ爲す程に至りたれば全戶數六十戶內外の內二十四箇所に穴居を設け一種の契を作り漸に總

●醫師試驗期日

朝鮮總督府醫師試驗は來る四月二十日より[illegible]總督府醫院內に於て行ふ[illegible]志願者は三月[illegible]に[illegible]朝鮮總督府[illegible]に提出す[illegible]べく今回の[illegible]朝鮮語[illegible]試驗に[illegible]を得るといふ

●高女試驗成績發表

京城高等女學校にては十一日一學年入學志願者二百五十四名に對し入學試驗を擧行したるが其成績は來る十五日午後二時發表すべしと

[illegible]

人事消息

▲安藤[illegible]氏(鐵道[illegible]) 十五日出發赴任の筈

▲朴[illegible]氏(侯爵) 同上

拓殖資と滿鐵

滿蒙開發上切に希望せし拓殖資金の供給が滿洲銀行の不成立と東拓會社改正案の握り潰しとに依りて空望に歸せしは在滿邦人多數の最も遺憾とする所なるが此缺陷を補ふに如何なる手段を以てすべきか正金支店なり鮮銀支店なり將た正隆銀行なり其の資金貸出の上に一步進みたる方法を執らんことは此際當に是等在來銀行の責務なるも拓殖資金の供給を彼等に望まんことは得て望む可からざるを以て在滿鐵會社の金融資金を增加し從來農業及び農事關係者に貸出せるものを一層廣汎的普遍的ならしめん事を希望するの聲漸く高きを加へ來れり之れに對し滿鐵がいかなる措置に出づべきかは今日のところ遽に明らかならざるも從來の貸金の危險的性質を帶びたるものもありて其の結果貸下されこなり而かも其の拓殖資金は生産事業の爲めに貸與せしもの上に注がるゝも全く其の目的に背馳したる結果を見たる例も尠からざれば此の經驗に鑑み拓殖又は生産の名目を以て滿鐵に資金供給を求むるものあるとも往時の如く輕易に貸與するが如きことなく充分に其の人物と其の持たんとする事業の性質、方法等を調査したる上その確實と認めたるものに貸出しをなすの外なかるべく隨つて滿鐵に拓殖資金の供給を過度に望むも到底行はれざることゝ明なり滿洲の現在は猶ほ對物信用に重きを措く能はざる事情あり對人信用と雖も容易に甚だ決定し難き事情あれば滿鐵が拓殖資金供給の上に愼重なる態度を持するは當然といふべく或は政府の配當金二百五十萬圓を廢止せしめ其の一半を金融資金とし積極的に滿蒙拓殖の上に盡さしむべしとの說もあれど之れは恐らく行はれざるべしされど滿蒙開拓上拓殖資金の供給は極めて緊急を要するものあるを以て滿鐵にては滿銀不成立、東拓改正案握り潰しの結果に伴ふ此の方面の缺陷に對し相當補充の途を講ずべく現に調査しつゝある模樣なれば追つて多少何等か適當の方法を執るに至るべし(大連)

淸會線 計畫槪觀 (一)

本紙曩に吉會鐵道の經濟的價値に關し說く所ありたるが、同鐵道とは、恰かも鮮滿の關係を有する、即ち淸津、會寧間の鐵道、將來の使命に就て調査せる次第を掲載せむ。北鮮道の工事、概況並に將來の使命は、日露戰爭の時に於ける鐵道の嚆矢は、即ち軍用輕便鐵道の敷設されたるに始まる、其後四十一年六月時の統監府鐵道局は、既設輕便鐵道線路に沿ふて技師の踏査を行はしめたり、之れ即ち北鮮に於ける最初の普通鐵道敷設計畫なりとす。尤も當時は淸津、輸城、元山間三百三十哩の所謂踏査をなしたるに過ぎずして、今日の所謂淸會線なるものは除外されたり、大正元年九月に至り、總督府鐵道局は、淸津、會寧間の線路の具體的測定を行ひ、線路豫測を企て、淸會鐵道線路の實體的測定をなすや、大正三年度の議會に於て、

朝鮮鐵道建設及び改良費既定總額六千五百六十萬圓に追加されたる二千九百十餘萬圓の內に含める、成鏡鐵道建設費約千二百萬圓中約九百萬圓の、淸會鐵道建設費の成立を見るに至り、茲に初めて北朝鮮開發の端緒は開かれたるなり、國費多端の際にも拘らず、政府先づ之れを計畫し、議會も亦之に協贊を與へたるに鑒みば、如何に本線が重要なる使命を帶びたるかを知るに足らむ。事のこゝに至る迄の間には此鐵道に依つて直接利便を與へらるべき北鮮地方の人士が或は公開議論に當局を刺戟し世人を警醒せし努力亦與かつて多きことを認めざるを得ず。前記九百萬圓の[illegible]を合算するときは、無慮一千萬圓[illegible]年度より來る七年度に亘り支出せらるべきものとす。工事は三年度十月より起工し同年度內に於て六十餘哩[illegible]

四年度に入りては二百三十萬圓を投じて工程の進捗を圖りたるが、四年度には秋季の洪水にて線路工事に大損害を來し、遂に豫定を變更したるため豫算面に於て六十萬圓の增額を來したれども淸津會寧間全長五十八哩の線路には何等の變更を見ざりき、只だ豫算の增額は水害の實驗に因る一部線路の附替を行ひたる結果隧道の數を增したる爲にして、今日にては全線に十個の隧道を掘鑿することゝなり、[illegible]

十四哩五十五鎖六割四分、第三工區古茂山、全巨里間十二哩五十鎖、五割四分宛の進捗を來し、茂山嶺の隧道工事も七個の中二、三、四、六號の四個迄全通し、餘す所の第五隧道は三月中に、又全線の至難工事たる第七隧道延長四千三百尺も來る十二月迄には貫通す可き見込なり、右の如くなれば遲くも本年七月頃迄は淸津、茂山嶺下に[illegible]三十五哩[illegible]開始[illegible]同時に[illegible]區間に[illegible]道局の一懸案として研究中なりと云ふ(未完)

●兌換準備增加

奉天の支那側各銀行は昨今の取付に懲り其々兌換準備の增加に力め居れ[illegible]

●東三省郵便 續成

昨年度交通部の郵便利益は約四十萬元なりしが其中東三省の分十六萬元[illegible]

●慶北金融狀況 ▲軍廠

正月の影響を蒙り二三回の開市を見ざりしが納稅第二期に際し資金の[illegible]の騰貴を示せる而已ならず商勢頗る閑散なり一般金融に於ける納稅期分割の結果は地方金融に好影響を與へ[illegible]要を喚起し漸次繁忙に向はんとす▲[illegible]極めたり殊に米價の低落と諸雜貨の騰貴は農民に多大の打擊を與へ購買力の減殺を招致し一般商況不振を[illegible]して合計一〇一〇七噸の移出に過ぎず移入の主なるものは鮮魚一五四噸、干魚四〇噸、明太魚四噸、鹽一四八四噸、紡績糸三五噸等にして合計二一〇[illegible]に比し減差を示せしも唯だ目下鹽の需要期にして之が移入の爲め稍や殷賑を增加せしが如し歲年末の決濟も[illegible]り爲め農民一般に購買資金の需要に應じ居れるが故に諸物貨の移動も比較的閑散なり[illegible]

ポケット英語

回創刊號(在來の因襲と束縛を脫して本誌生る)

△書齋で電車で(旅行で[illegible])

△英語を手ッ取早く[illegible]

天下一萬人向の英語雜誌

目次大要 ▼一年一千字 ▼英國の軍事郵便 ▼電車英語 ▼時事英語 ▼手紙の書き方 ▼活動寫眞の英語 ▼米國小兒の作文 ▼演劇(文七元結)

△定價 [illegible]

發行所 ポケット英語社

下關高等簿記學校生募集

四月中旬に新學期開始[illegible]

天下唯一 登錄商標

●淸水式無砂精米麥機

本機を以て精白の精米及び精麥の優良なる成績は到底他に及ぶものなし

搗減僅少 精白迅速 動力最少

皇太子殿下の御嘉納を辱ふす

御即位式主基齋田米を精白し奉る

謹告

山口岩助

右之者不都合の行爲有之候に付自今弊館とは一切關係無之此段謹告候也

三月十三日

京城永樂町 斯道館

日韓書房 新版報告

炭燒の娘 青年訓 女學校出の花嫁 家庭重寶記 今日の料理

京城本町二丁目

朝鮮總督府法定消毒劑

無害 無毒

アイゼル

猩紅熱其他傳染病豫防新藥

井上藥品部

■素人下宿開業披露

▲客室閑靜、食器淸潔、寢具新調設備完全

今般左記の處に於て開業官吏會社員其他の御客樣に對し御叮嚀に取扱申可候間御引立願上候

京城太平通二丁目 電話二五六三番

田浦屋

●獻上の紙巻煙草は斯く謹製せり

朝鮮産業界の光榮

内地種は太巻き＝在來種は細巻き＝土耳古式の醗酵法＝百本宛廿五箱＝烏の子紙

畏き邊りの思召に依り寺内總督は過般朝鮮産葉煙草を以て製せる紙巻煙草を獻納したるに　陛下には悉く御嘉納あらせられせるは夕刊所報の如くなるが、之れに就き直接謹製の任に當れる總督府度支部專賣課小谷技師は語つて曰く　岡田技師が總督邸に參つたのは一月三日の事でした。總督は技師を見ると直立不動の姿勢を執つて、天子

無上の光榮に浴

様から朝鮮の葉煙草を出せと仰せられたるが出來るか如何か、と尋ねられたので技師は出來ますと答へたさうです、其れで翌四日から下準備に取り掛かりまして材料を蒐め、器械器具を整へ二月の十日から漸く製造に着手して廿日に悉皆出來上りました

材料の葉煙草は

朝鮮産内地種と朝鮮在來種との二種で内地種の方は大邱附近の民間耕作の葉中から秦野、水府、出水、指宿等約三貫目許りを選定し、在來種の方は江原道寧越の鮮人が耕作した所謂寧越葉を一貫目許り選びました、また紙巻紙は朝鮮に適當なものが無いため内地の東洋製紙會社から取り寄せたので宮内省の御料品と同様のものですが口紙は印刷所で漉いた烏の子紙を用ひました、材料が集りますと先づ試製に着手し内地種は太巻きとし在來種は細巻きとして各三四種を製り長官會議の席上で批評を求め評判のいゝものを採り更に

總督の選定を乞

ふて愈々各一種宛に決りました、其處で從業者たる私や幸阪君は勿論、監督の任に當つた岡田技師以下一同は中樞院内專賣課分室の一間に籠り、潔齋して手巻きに依つて太巻き二千本と細巻一千本とを製り上げました此煙草は素地の儘で何等の加工はしてありませぬが在來種の方は煙草の品質を良變する爲め例のエー

デンクといふ土耳古式の醗酵法を加へました、斯くして出來上りますと百本宛紙箱に詰めて二十五箱とし之れを一々白紙で巻いた上、彩の赤柾で造つた箱に納めました、而して總督の御目に掛けた後、岡田技師が捧持して發足されたのは二月二十三日の朝でした何しろ斯んな事は

始めてのことで

ありますから材料の蒐集や、器械、器具の設備に思はぬ日を消して大變に長引きましたのは恐懼に堪へぬ次第ですが、先日御嘉納あらせられた趣きを漏れ承りまして漸く安堵の胸を撫で下しました　聖上陛下が朝鮮に對して終始大御心を掛けさせ給へることは有り難い極みで上下一同感銘の外はありませぬが今回又た復た此光榮に浴しましたのは啻に

朝鮮煙草界の爲めのみでなく鮮内の全産業に取つて何とも申上げ様のない名譽な事であります

●怪しの瀛船と見しは鳥取丸

國籍を示さず逃走＝對馬艦の追航＝將に實彈を受けんとす

軍艦對馬は臺灣海峽を哨戒勤務中三月十一日午前五時一汽船の航行するを認め直ちに軍艦旗を掲げ國籍を示さん事を要求したるも何等應ずる處なく同船は對馬艦を怪しき船とのみ思ひ**燈火を滅じ一意逃走するものゝ如くなるを以て**空砲及び實彈を發射したるが更に停船せず軈て午前七時頃**將に命中彈を送らんとせし瞬間に至り漸く停船せり**依つて直ちに接近し取調べたるに商船鳥取丸なる事を確め得たるが今少しく躊躇せば砲彈を受け慘憺の最後を遂げしならん（東京特電）

●唯の丸儲け

ほんこにぼろい　ぼろやの商賣

鐵屑、玻璃片、紙屑、女の髪の毛＝の値が出た

仁川の海岸通りの片側に一棟の怪しげな日本建の建物がある、これはボロの集積場で營業者は古川某といふ廣島生れの

斯道の古老　去四十一年から丸八年越今の處に住居して此營業をして居る何軒かの廢家同樣の家に一軒づゝ區別してボロ片ブリキ類紙屑類鐵類等を劃然と整頓してゐるが良くも之れ丈の物が集まつたものと感嘆させられるお得意先は朝鮮人の小供許りで

市内各所に　設置してある共同芥箱から選り分けて引ずり出して來るので肩に掛けた籠の中へドッサリ詰め込んで持つて來るがこれこそ唯の丸儲けで非常にボロい商賣である之等のものを目方に計つて買取るのであるが

無論品物の　素質によつて値段に高下あるのはいふ迄もない其種類は實に數限りがないが其中の幾種かを擧げて見るとボロ、古箱木類古鐵女の梳き出した髪の毛足袋紙屑硝子から陶器類等迄ある仕向地は大抵内地の

廣島と下關　で此中古木類は燃料として鮮人向の温突焚に賣込み紙類の上等物は温突張り用とし古鐵の中でも古釘とかボートなどは鐵工場へ持ち込み陶器は洗滌して古物商へ向ける足袋なども原形を存して役に立つのは

擔軍に賣り　他は「ハゼ」丈を外して内地へ送るボロは大なる物は仁川で碇泊中の汽船の汽罐用に使はれるが小さいものは製紙の原料として内地向とし硝子類や鐵力なども其儘適宜の包裝を施して内地へ移出する昨年來不景氣の爲めと

他に競爭者　が鮮人部落に現はれて營業して居るから根つから駄目だと當人は愚痴をこぼして居るが中々どうして一箇年何千圓と云ふ込みがあるさうだ近頃鮮人の方でも却々ヅルくなつて目下

古鐵は幾何　程の相場何處の相場日本の何處彼處迄運賃が幾何税金が何割とチヤンと計算して知つて居るさうで却々安價では賣らないといふ事だ斯うして内地から

一旦移入し　たものが著古され使ひ古されて元の内地へ逆戻りし更に原形を止めて又は幾らか全く形變されてか又復朝鮮へ移入されて來るのだ

●戰慄す可き罪狀

▼三人強盜の豫審決定

京城觀農洞金長熙（三七）高陽郡東幕洞京城府衞生人夫李秉俊（三九）西大門監獄在監囚金順昌（四一）京城樂園洞李成培（四五）西大門監獄在監人趙秉敏（三七）等は強盜殺人罪に依り京城地方法院の豫審に於て取調べ中なりしが此程終結決定し金長熙、李秉俊、金順昌三名は有罪と確定し近く同法院の公判に附せられ李成培、趙秉敏二名は免訴放免となりたり其罪狀を聞くに前記五名は何れも強盜罪の前科ある曲者にて金長熙外三名は共謀し兇器を携へて昨年七月十五日夜龍山元町二丁目米穀商金瓊洙方に突入し順昌は瓊洙の妻李姓女に斬りつけたる際長男外二箇所に重傷を負はしたる外亥の諸介（二）が驅け出さんとするを見て頭部に斬りつけて即死せしめたるが李姓女は辛くも屋上に逃げ上りて大聲にて救ひを求めしより三名は逃走し爾來行衞不明中の所遂に縲絏の手に檢擧されたるなりと

●海軍瀆職事件

關係者無罪

大正三年中海軍瀆職事件に連坐して有罪となり目下刑の執行猶豫中なる元三井物産會社取締役岩原謙三同山本條太郎元豫備役海軍造兵總監松尾鶴太郎元三井物産會社員松岡徳爾及び他の三名は十三日午前十一時地方裁判所に呼び出され今回の特赦に依つて罪を免せられ無罪となりたる旨申し渡されたり（東京特電）

●尾車文五郎死去

東京相撲協會檢査役尾車文五郎は昨年夏食道癌に罹り爾來引籠り本所區松井町の自宅にて療養中の處終に十三日午前九時五十歲を一期として死去したり（東京特電）

水邊の春　龍山漢江々岸にて

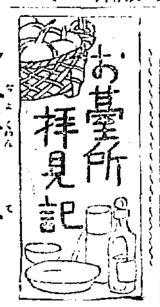
●第二回朝鮮短歌會

本月廿日投稿締切

紀元節當日第一回を開會して盛會を極めし朝鮮短歌會は四月三日の神武天皇祭當日を以て第二回開催の事に決したるは既報の如くなるが今回は原稿を廿日迄に締切り直に印刷に附して二十四、五日頃迄には各投稿者に配布の上月末頃には互選して幹事に廻付し當日席上にて其の結果を發表直に批評に移る豫定にて時間の經濟と同時に選抜にも餘裕ある時間を得るのみならず更に當日會合の缺席者と雖も互選し得る都合となるものなり歌稿は三首限にて投稿に際し十錢（二錢郵券代用にてもよし）封入あり度く別に會費（席料乃至茶菓代）は金卅錢にて何人と雖も投稿、出席隨意尚ほ投稿所は京城日報編輯局内朝鮮短歌會幹事宛なり

●青年畫家作品展覽會

四月三日朝鮮短歌會同一會場別室會場は目下交渉中に於て古賀莊雄氏洋畫展覽會開催の筈なるが主として南山のぼる、石田富造、前川千帆四氏の小品を集め各方面に亙り高踏的趣味の發揮に努むべしと因に席上希望者には即賣すべく觀覽は短歌會とは關係なく隨意なりと



▽女官の手

＝昌德宮の主膳課＝

米は石鍋で炊く　土曜日には洋食

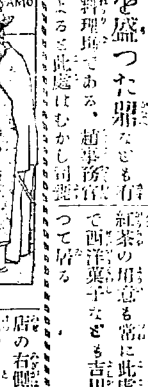
昌德宮の御臺所は隱龍門の隣り桃色の壁を塗つた朝鮮式の建物の裡にある、むかし典膳室と呼んだ此の建物は料理場と事務室と部屋五室に分たれて居るが

□事務室に當る主膳課には趙東源事務官以下數名の係員が毎日早くから御料理に關する一切の事務を執り猶ほ洋式所と稱する庖廚室では毎日昌德宮兩殿下の召される西洋料理を作る所と時々御誕生日の御祝ひなどに饗膳の宴會を遊ばされる時の料理場と二つある、

朝鮮料理は主として内主膳所と云ふ處で女官の手によつて調へられ又毎日兩殿下の召される　又内殿に出仕する贄待長官などの食事を調へるところの外主膳所といふ室もある斯くの如く多くの料理場は何れも三和土の床に造られてあるが先づ李王殿下及び妃殿下のみの御料理を調へる内主膳所を拜見すると傍の温突から﨟たけし女官が二人現はれてその白絹の上衣も紫色の裳も共に御殿の御臺所たるに充分の感じであるが此の女官は尚宮と呼んで其の下に働らく料理場の婢子を監督する、猶ほ室内には水道栓の下に大きな銅製の洗ひ釜があり其他煉瓦で築いた長い竈の上には兩殿下に奉る御飯用の石鍋や數々の御汁鍋がかゝつて居る、又大きな錠前をつけた四角な米櫃や炭火を盛つた鼎なども有る趙事務官の話によると此處はむかし司饔院とも言ひ又典膳司とも稱して宮中に於てもなか／＼大切な處となつて居たが

□御料理の獻立などは　むかしから嚴重な定めがある、只今の李王殿下は御食事の時刻が極めて規則正しく在らせられるので朝は朝鮮で粥と稱する各種の汁と白飯とを少し召し上るのみであるが其れでも御料理は約二十種に餘る數々の御料理が作られて白い御飯から赤い御飯を始めとし明太魚の御料理だとか肉、魚、野菜類まで數々の御馳走が調へられる、殊に赤いお飯は日本のやうに小豆をそのまゝ入れたのでなく小豆の煮汁を以て御飯に色を着けるのである、又大根や白菜の御漬物は

□毎年秋の中旬に百五十貫匁許りを漬けて　これが一年中の御用となる、次に洋式の西洋料理室を見ると此處は李王殿下の召される御料理を主任吉川氏は多年帝國ホテルにあつた人で恐らく朝鮮では此處の料理が一番だらうといふ、李王殿下の洋食を召されるのは多くは毎週土曜日に限つて居るが御嗜好は主に柔かい潰し肉などのハンバーグステーキやクネルドボアツソンなどである、猶ほ殿下が東行閣の球場で召される紅茶の用意も常に此處で仰付かるので西洋菓子なども吉川氏が自分で造つて居る



＝生花商　中村商店＝

店大たる本町の通に當から、せまい意味から申せば本町一丁目の中村生花店は舉げたい、店は

▽泥觀　街の下り坂から御門西教會堂の裏門に隣る間口二間餘りの小い家であるが、小いながらに却々

▽巧み　な店構へである、此店の商品は誰れにも快感を與へる切り花や鉢植の花であるけれども店が小くて何んとなく

▽客足　を惹きつけるやうに出來て居るのは鳥渡他に類が無からう、—あの店が若し屋根を高くし鴨居を高くし入口を高くしたら、それに主人が

▽羽織　でも着込んで居た日には到底寄り付かれたものでは無いけれども左右で無いところに味ひがある、店頭には無造作な木の棚を順々に高く設らへ先づ可愛らしい

▽白菫　の小鉢から白色や桃色の櫻草から紅に燃ゆるアネモネ草など漸次に大きな鉢になつて居るのも面白いが

▽殊に　ゆかりの色のヒヤシンスから恥しさうなぼけの花など本町の春を此店に獨占したかの感じがする、猶ほ店の右側には夥多の甕や四斗樽の中に桃、

▽紅梅　なぞの切り花から紅い椿や貝椿などを投げ入れたのもなつかしく確かに店全體に客を呼んで居る、猶ほ此の店が

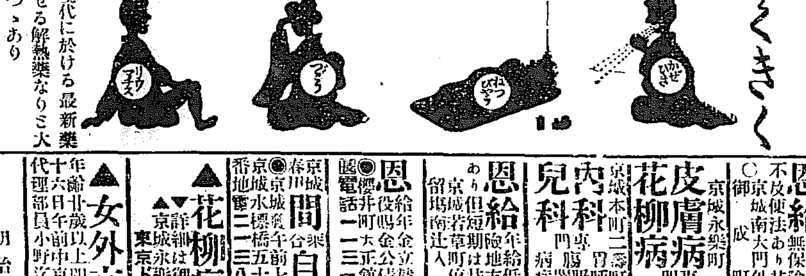
▽東向　きであるのは四季を通じての朝日夕日のさし込みに非常な有利なことであるが、又店の硝子障子の腰板を極めて低く拵へたのも好い考へである、而して又

▽入口　や溝板の道路と平坦に並んだのも店に入りよい一原因である、只だ一つ迷惑なのは夜の明りが右側の

▽切花　にのみ輝いて肝腎の菫の花に不親切なことである、今少し斯の灯をつけたらよからうと切に思ふ

かぜねつに一番よくきく

キナピリン



●キナピリンは現代に於ける最新藥にして最も進歩せる解熱藥なりと大方の歡迎を受けつゝあり

●キナピリンは●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リヨウマチス●間歇熱（マラリヤ）等に大効あり

定價　二包入拾錢　五包入廿錢　八包入三十錢　十五包入五十錢　三十二包入壹圓

本舖　大阪堂島　高橋盛大堂本店　發賣　同心齋橋　高橋盛大堂分店

急告　新潟縣人會

今回豐還陸軍中將閣下、新潟銀行頭取大野富三作氏の來京を機とし新任大邱高等普通學校長の送別を兼ね臨時會開催致候間奮て御參會被下度候

一日時　十五日午後六時
一會場　旭町　靜養軒
一會費　金武圓五拾錢
一申込　南山町二丁目松岡醫院　電話六七五番

今日より　只今　見本

三月號　定價十錢郵稅一錢郵券送れ即時送本す

富之研究

▲良職業に從事せんとする者、▲有利事業を起さんとする者、▲内職副業を始めんとする者、▲少資本で成功せんとする者、は速に本誌を見よ、斬新有利實行容易實益莫大なる記事滿載、尚誌代一年分一圓廿錢前納者を會員とし各種大利便を與ふ　▲入會希望者に無代進呈す至急往復ハガキで申込みあれ

東京市萬世橋　振替東京二一〇八二　富之研究社

實行を主眼とする致富成功雜誌

株式名義書換停止公告

來ル四月一日ヨリ定時株主總會終了當日迄當社株式名義書換ヲ停止ス
右定款第十八條ニ據リ及公告候也
大正五年三月
朝鮮郵船株式會社

京日案内

▲普通（一回前金三十錢（無割引）擴名一回毎に金五錢増）

自轉車便利なる方法にて現品先渡賦販賣を開始候御申込あれ　南大門通三電二三一〇　ツヾキ商會　405

●古本　品揃に付無比高價買入　御一報次第即刻參上　電話二七八一番へ　▲京城本町四　普陽堂書舗　565

●採鑛監督者募集　有者黃海道長淵郡樂山崗業所又は京城明治町一小林鑛業本部へ來談　411

▲古本買受▼　▲御報即時參上▼　▲地方即時送金▼　京城本町電話二五二七　ウツボヤ書店　560

▲番外（一回前金六十錢無割引　擴名一回毎に金五錢増）

▲龍山むしぶろ　▲子宮　▲かつけ　▲りよまち　▲婦人ひゑしよ　▲其他諸病に特効あり　▲見乘一度御試浴あれ　むしぶろ　416

内科　小兒科　京城北米倉町（注連內醫院跡）　胃腸病　花柳病　皮膚病　錦城醫院　院主　金谷友三郎　電話五九五番　415

某鑛業所員採用　技術者は特に優遇す相當素養ある良の青年を求む希望者は保證人を京城日報支局迄　412

質商　移轉廣告（元伊佐）　當を旨とし御客樣の便利を計り親切丁寧　黄金町一丁目大正館北横丁　櫻井町と櫻井町角南入る　東屋　382

向貸家　住宅の新地　京城吉野町一丁目　家賃月金武拾圓内外數戸あり入用の方は旭町一丁目小森村木村又は吉野町一丁目中村修道方へ　518

恩給　年金　無保險　低利長期立換短期　地方在住者上京に不及便法あり其他擔保信用貸仕候　京城南大門外　御成町　山口屋　530

皮膚病　花柳病　專門　須古醫院　京城本町二丁目元中島病院跡　京城永樂町一商品陳列館坂の上　電話二一〇三番　551

内科　兒科　胃腸病　呼吸器病　專門　山田醫院（入院隨意）　電話二八八〇番　574

恩給　年金　無保險低利長期立替短期無保險　但地方在住者は特に御相談申上候上京不及便法あり　京城若草町停留所南入　西村商會　576

恩給　年金公債　立替並買入　京城櫻井町一丁目大正館向　青島　電話一一三一番　博多屋本店　581

間自働車　京城春川間　賃金片道四圓　京城發午前七時　春川發午後二時　京城水標橋五十八　電話二一三八　支店　京城自働車商會　松田壽男　594

花柳病專門藥　▲詳細は御照會次第　▼京城永樂町二丁目交番北　東京ドラッグ商會　滿鮮本部　597

女外交員募集　年齡廿歲以上四十歲迄希望者は三月十六日午前中京城明治町東屋方東京代理部員小野迄來談あれ　420

明治町二丁目　岡村竹石　417

湯屋讓り渡す　門外最も有望の地希望者は湯屋組合事務所電話一千六百三十八番へ御來談あり　418

千生瓢 (153)

須藤南翠作　筒井年峰畫

大阪城(二)

信長が深く大阪に著目した事は、前述の事實で明かであるが、信長紀に、其地理を記して曰く、

大阪は凡日本一の境地なり。其仔細は、奈良、堺、京都程近く、殊に淀、鳥羽より大阪城戸口まで、舟の通ひ直にして、四方に節所を抱え、北は加茂川、白川、桂川、淀、宇治川の大河流幾重となく、二里三里の中、中津川、吹田川、江口川、神崎川引廻し、東南は上か獄、立田山、生駒山、飯盛山の遠山の景色を見送り、麓は道明寺川、大和川の流に、新ひらき淵、立田の谷水流れ合ひ、大阪の腰まで三里四里の間、江た川と續いて渺々と引まはし、西は滄海漫々として日本の地は申すに及ばず、唐土、高麗、南蠻の舟、海上に出入し、五畿七道之に集まり、賣買利潤富貴の地なり。

實にその如く、其要害よりいへば江、河繞り拱して、容易に攻め難く、其位置よりいへば、四通五達の利便を具へ、中國、四國、九州に臨んで、京畿の關門を扼す。一代の英雄、當に宅すべきの勝地である。殊に海王として天下の諸侯を、膝下に拜跪せしめんには、其所宅の地に與へねばならぬ。人馬糧秣の運漕にも便せねばならぬ。物資供給の大市も開かねばならぬ。百貨集散の坊肆も設けねばならぬ。其には陸運水漕共に利便なる、大阪の地を措いて、他に之れ在るべしとも思はれぬ。

信長の英邁雄駿、兵術軍略、政治外交を、根本的に徹底して、落々之を實行する者は、柴田でなく、丹羽でなく、佐々でなく、瀧川でなく、單り羽柴秀吉のみであつた。殊に大阪は最初秀吉の發見して、之を信長に推薦した勝緊である。秀吉が信長の遺圖を繼承して、こゝに築き、以て天下に號令せんとする志しを有したのは、既に山崎出陣の時からであつた。信孝がこゝに信澄を亡したのは、非常に秀吉の心を刺戟したと見えて、直ちに一書を認め、城番の將に送つたものを見ると

其御城何方へも御渡しなさるまじく候、天下定りたる後、上樣の御跡續になるべき方の、目出度御入りなさるゝまでは、御番油斷あるべからず候。

とある。されば、信孝も信澄を誅した後、此城を占領せず、秀吉自身も光秀を亡して後、亦この城を外にして、故らに狹隘なる寶寺などに城造りして、世の人目を眩してゐたのであつた。

秀吉の腹には、一大計畫であつた柴田の、宿老戰を交へずして、賤ヶ嶽に死し、三七信孝亦滅して、天下の權は、自から自己の掌中に歸した今日、海道一の弓取と呼ばれた德川少將家康まで、戰勝祝賀の使者を送る程、威名の嶽になつた今日、誰れを憚り何を憚りて、いつまで宿志を抑ふべき。秀吉は爛々たる眼光に四方の形勢を睥睨しながら、傲然として大阪城の築造を命令した。

丹羽はいかに、前田はいかに、北畠殿はいかに、池田はいかにと、秀吉は密かに其抗議を期待したが、誰あつて一言の異見を立つる者はなかつた。秀吉は冷然として白眼に見渡しつゝ、天下大工の棟梁たる、四天王寺の武辻、金剛、法隆寺の多門、中村の四人を、急き寶寺へ呼び出した。

この四姓は、日本建築の祖先にしまする聖德太子より、建築の秘訣與護を授けられ、代々天下の大棟梁として、兩大寺に分れて工匠を司つて來た者であるが、武辻、金剛の二姓は、一向宗徒として、顯如上人に從ひ、紀州鷺の森に居るので、其召しに應ずることが出來ず、法隆寺の中村は、世の亂れて法隆寺にも住みわびて、今は伏見の里に在るとばかりで、誰も住所を知る者もなかつた。幸ひにして多門兵助といふ老人ばかり今も幽けく法隆寺に住みて、纔に家道を守るといふ事を聞いて、それ召せと言ひ渡した。

□蘆風吟社詠草　―湖南線松汀里―

水も通らぬまでに泣き[illegible]　同
江の渦の起重機雨に洗はれ晴れ日　秋湖
朝開き霞立ちつゝ眠へり春立つ今朝の船出たの　大和　昌光
翠霞の中より利殿今日立つ春を霞かれぬ　秀局　霧雄
村消えの霞の中より[illegible]　林　正辰
霞消えて四方の山邊に立つ霞[illegible]色まず春はき　正辰
にけり　松田　季玄
我門の堤の柳いとたれて露しまさむ春立ちにけり　松田　季玄
數ふれば今日より春は立ぬるを梅より外に知る者はなし　宮崎　花賢
霞消えて木立の雀千代千代と今日立つ春を告て鳴く也　本浦　宮崎　花賢
冬枯にふりに雪の消えぬまに花に代らむ春ぞ立ちぬる　高等一年生　大塚　すみ
いつしかと待たる春は立にけり花の下風今吹きてこむ　中瀬　春野
日の出る方より春や立ぬらむ今朝吹く東風に梅の匂へる　土居　松枝
天の原霞剝むらし久方の雲井遥かに春や立ちけむ　木浦　宮崎　花光

題
九重の松に奥[illegible]千代[illegible]萬代の春　宮崎　花光
初日影おそかゝ天に[illegible]千代まで大鵬の展開なりけり　正辰
[illegible]千代[illegible]　霧雄
[illegible]　季玄
[illegible]　昌光

新刊紹介

▲河日本（六ノ三）[illegible]
▲日本國教大道叢誌（三一）[illegible]
▲新國民（三月號）東京市[illegible]二六大日本國民中學會十五錢

讀者の領分

▲此處二三日[illegible]窓飾りが毎日[illegible]て來るが、實業家の好い參考だと思ふ。記者は大いに記載して下さい各商店の陳列の批評等大いに商業に從事する者の爲になると思ふ或る店では悉りを切取つて一冊の本にしてゐる店も有る小生は大いに京城日報の記事の些細なる所にでも他の新聞にすぐれて居る事を確かに思ふ（本町の一商人）▲醫術の進歩には實に驚きますが私はソコヒと云ふ初期の眼病に罹り居りますが是は絶對に豫防法はなく自然に放任しをくより途はありませんか（患者）▲一覧圖の詐欺に引き掛つたは我町のみかと思ひしに本町二丁目も左樣なのが數はなく（永樂町二丁目被害者）▲貴社の京城家賃に對する御意見は實に御同感にて京城の如き粗末なる而して高き借家は他に無く候家賃は家主より下げて今月より何圓に致しますと云ふて來る者は一人も無之又借手より請求しても却々下げ不申故に轉居者の多き譯にて私の如きは三月に一回位は轉宅致し其れから四五月目に元の家に逆戻りすれば一二圓位は安く借れると云ふ奇觀に有之候（京城浪人）

□平壤燒栗會句稿□　水

田水に人のひな歌かすむ宵　紅鳥
一滴は一滴は海ともなるに　同
水溜の叩き遊ぶ兒に島影　南涯
きら〳〵の貝殻を水船の遲き哉　空迷樓
水より水に淋しき日の暮れたり　同
水に遡へりし夕べの植木棚　草樂
陽の箕ツ只中撒水車を曳く　樂天境
物浸む影の浮くや照る水に　一露
砂金洗ふ岩肌のわたり流る　同
里近からん淸水に此柄杓　露光
水のもらぬ兵巾ろ地となりたり　同
微暖やみて顏洗ふ水の遊　同
提灯の人と歩めば水の光り　同

商況

大阪株式（十三日）[illegible]

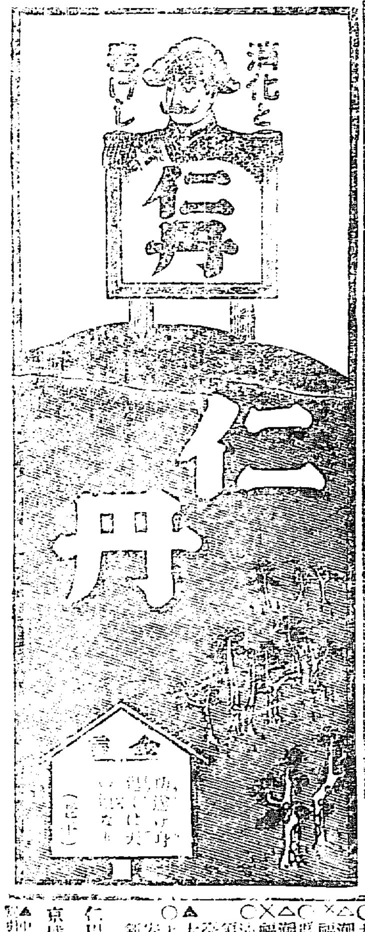
大阪三品

▲後場　常限寄付十三圓〆九錢△中限寄付十三圓二十六錢△先限寄付十三圓五十一錢
[illegible]
▲⑤能く賣る　從來邦汎の主力を以つて市場を操縦[illegible]三十八錢と引けたる折柄大阪の引返し移りに四十五錢〃跳ね[illegible]

仁川米豆取引所

[illegible]

女といふ女の方の肌身離さず御愛用遊ばす御化粧料は
東京で一番よく賣れる美人となる
ホーカー液
御常用なされば、色を白く、キメを細かに自然の色艶を發揮するといふ獨自の効果あるホーカー液は絶えず研究の結果、彌が上にも品質が改善せられて居りますから、その効果も愈々著しく、只今では、東京の御婦人方でホーカー液をお用ひ遊ばさねば恥の樣になつて參りました。
本舗　東京和泉橋　堀越嘉太郎商店
一番きれいにむらなくつく　ホーカー白粉　定價一瓶廿五錢　郵料内地八錢



急告！
最有効強壯藥　次亞燐は
輸入原料藥品非常の暴騰に付止むを得ず
▲定價改正（三月二十日より）
改正定價
大瓶　約一ヶ月分　金貳圓也
中瓶　約半ヶ月分　金壹圓參拾錢
小瓶　約七日間分　金八拾錢
但し賣捌店にて在來の定價品持合せの方は在來の定價にて販賣せらる
本舗　大阪道修町　藥劑師　小西久兵衛

衛家處分論　[illegible]

眼科　小兒科　京城南大門通（電話二〇四三）
本田醫院　院長　本田建義

汽船釜山出帆廣告
[illegible]

大阪商船仁川出帆
○元山、清津、雄基行　[illegible]
○門司、神戸、大阪行　[illegible]
第三琴平丸　○門司、宇品、神戸、大阪行　三月十九日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天兵丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十一時出帆
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
吉長丸　三月十八日
油頭丸　三月十五日
宮島丸　三月廿三日　午後五時出帆
○木浦、群山、長崎行
安東丸　三月廿五日
城津丸　三月二十日　午後二時出帆
▲鎭南浦、大連行
安東丸　三月廿一日
城津丸　三月十五日
漳州丸　三月　日　正午出帆
○大連直行
潮州丸　三月廿六日
福州丸　三月卅一日　正午出帆
○群山、釜山、横濱行
潮州丸　三月廿一日
福州丸　三月十六日　午後二時出帆
○須磨丸　三月廿七日
臺北丸　三月廿七日
大智丸　三月廿二日　午後二時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
安平丸　三月十六日
新高丸　三月廿四日　後四時出帆
仁川取扱所　大阪商船會社仁川支店　電話二〇〇番、五五〇番
京城切符發賣所　大阪通運會社支店　電話七〇八番

尼崎汽船仁川出帆
○群山木浦釜山下関神戸大阪行
秀吉丸　三月十四日後四時出帆
大有丸　三月十七日後四時出帆
神代丸　三月二十日後四時出帆
蛟龍丸　月　日後四時出帆
君が代丸　月　日後四時出帆
仁川海岸通五丁目　電話九十一番　高杉回漕部

京城金泉自動車發着時間表
[illegible]
金泉織居自動車支部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
三河丸　三月廿一日　正午出帆
相模丸　四月四日　正午出帆
○大連太沽行
高砂丸　三月　日　正午出帆
仁川海岸通一丁目　電話十一番　堀回漕部

朝鮮郵船出帆
全羅丸　三月廿三日
京畿丸　四月二日
黄海丸　三月廿七日
成鏡丸　三月　日　釜山着
穩城丸　三月十四日
昌平丸　三月廿二日
鏡城丸　三月十八日　元山着
忠淸丸　四月十二日
平壤丸　三月二十日　元山着
永興丸　毎月廿八日　元山着
盈德丸　三月十四日　釜山着
江陵丸　戰陽丸　毎日　（釜山浦項）着
三浦丸　三月十七日　釜山着
京城南大門通　松原運送店

阿波共同汽船仁川出帆
第二共同丸　三月　日後二時　大連行
順天丸　三月十七日　木浦着
海州丸　巨濟丸　何日　釜山着
慶興丸　三月十七日　木浦着
公州丸　三月廿一日　木浦着
公州丸　三月廿四日　木浦着
宗信丸　三月十五日　仁川着
江原丸　三月十七日　仁川着
晋州丸　三月十八日　仁川着
麗水丸　三月十三日　仁川着
錦江丸　南陽丸　毎日午前　仁川着
平安丸　三月十八日　群山着　若松着
第一城津丸　月　日　後九時出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三　月　日　前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店